

2011年度 国立大学法人

長崎大学概要



理 念

長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献する。

基本的目標

長崎大学は、理念実現のため“地域社会とともに歩みつつ、世界にとって不可欠な「知の情報発信拠点」であり続ける”ことを基本目標として掲げ、教育・研究の高度化と個性化を推し進めてきた。新たな中期目標期間においても、この基本目標を堅持しつつ、進むべき方向性と育成すべき人材像を明確に設定し、21世紀の知的基盤社会をリードする。

長崎大学は

- (1) 熱帯医学・感染症、放射線医療科学を中心に食糧資源・環境など本学の特色ある教育研究領域を糾合して「地球と人間の健康と安全」に資する世界的教育研究拠点となる。
- (2) 研究型の総合大学として、教育研究全般の更なる高度化、個性化、国際化を図り、インパクトある研究成果の創出と研究者の育成により、世界に突出する。
- (3) 学部専門教育と教養教育との有機的結合による学士力の涵養と、大学院教育の実質化により、長崎大学ブランドの高度専門職業人を育成する。
- (4) 卓越した教育及び研究成果を社会に還元することにより、地域の教育、医療、行政、産業、経済等の活性化、高度化、国際化に寄与し、地方分権の原動力となる。
- (5) アジア、アフリカ等の海外教育研究拠点における共同研究を推進するとともに、国際貢献・国際協力を目指す専門人材育成コースを整備・充実させ、途上国の持続的発展に貢献する。
- (6) 学生の夢と人間力を育み、学生の能力の最大限の伸長を図るとともに、若手研究者の自立支援のための環境整備を行い、志と覇気にあふれた若者が集うキャンパスを実現する。
- (7) 点検・評価結果を教育及び研究の改善へ直結させ、大学運営体制を組織的かつ不断に改革することで、大学法人の経営基盤を強化する。

目 次

沿 革

沿革.....	3
---------	---

組 織

機構図.....	10
歴代学長.....	12
役員会.....	13
学長選考会議委員.....	13
経営協議会委員.....	13
教育研究評議会評議員.....	13
役職員.....	14
役員・職員数.....	16

教育研究等

学部	
教育学部.....	17
経済学部.....	17
医学部.....	17
歯学部.....	17
薬学部.....	17
工学部.....	17
環境科学部.....	17
水産学部.....	17
大学院	
教育学研究科.....	17
経済学研究科.....	17
工学研究科.....	18
水産・環境科学総合研究科.....	18
生産科学研究科.....	18
医歯薬学総合研究科.....	18
国際健康開発研究科.....	18
学年暦.....	18

附属施設等

附置研究所 熱帯医学研究所.....	19
附属図書館.....	19
病院.....	20
教育学部附属学校・園.....	22
学部等附属教育研究施設.....	23

保健・医療推進センター.....	23
学内共同教育研究施設等.....	23

特色ある教育・研究

特色ある研究.....	24
特色ある教育.....	25

学生数等

学生数.....	27
平成23年度入学者状況.....	29
平成22年度卒業生（修了者）及び進路状況.....	30
過去5年間の進路状況の推移.....	31
学位授与数.....	32

国際交流

平成23年度外国人留学生.....	33
海外の大学等との学術交流協定締結状況.....	34
教員の海外渡航及び 外国人研究者受入数（平成22年度）.....	38

社会貢献

産学官連携戦略本部.....	39
産学連携.....	40

財 政

平成23年度予算額.....	41
外部資金等.....	41

キャンパス

長崎大学地区別配置図.....	42
厚生補導施設等.....	46
土地・建物・船舶.....	47
部局等所在地一覧.....	49
長崎大学位置図.....	51



沿革

安政4（1857）年11月12日、オランダ軍医ボンベ・ファン・メールドルフォールトが、幕府医官松本良順をはじめとする12名に対し、オランダ語による医学講義を開始した。この医学部の起源である医学伝習所の設置が長崎大学の創基である。

安政4 .11 (1857年)	・医学伝習所設置	11 .1 (1878年)	・長崎病院医学場を長崎医学校と改称
萬延元 (1860年)	・市民対象の病院機能、化学・薬剤、図書館、解剖施設、臨床実習機能を完備した養生所を開設（医学部・歯学部附属病院の起源）	2	・官立長崎師範学校廃止。建物及び備品は長崎県に移管
文久元 .9 (1861年)	・養生所を拡充して医学所を養生所横に併置（医学教育機関としての整備が完了）	6	・崎陽師範学校を長崎師範学校と改称
慶応元 (1865年)	・養生所を精得館と改称。10月、物理・化学などの基礎科学教育機関である分析窮理所を設置	12 .1 (1879年)	・長崎医学校を県立とし、長崎病院を医学校附属に代用
明治元 .10 (1868年)	・精得館を長崎府医学校と改称	16 (1883年)	・文部省令医学校通則に基づいて、長崎医学校は甲種医学校（卒業後無試験で医師免許を授与。全国で13校）に指定される
2 (1869年)	・長崎県病院医学校	17 .6 (1884年)	・長崎県女子師範学校設置
4 .10 (1871年)	・長崎県病院医学校が文部省所管となり、長崎医学校と改称	19 .4 (1886年)	・長崎県女子師範学校が長崎師範学校女子部となる
7 (1874年)	・台湾出兵により、長崎医学校廃止。病院は藩地事務支局病院となる	6	・長崎師範学校女子部に附属幼稚園を設置
2	・官立長崎師範学校設置	6	・師範学校令が公布され、長崎師範学校は長崎県尋常師範学校と改称
3	・長崎県小学教則講習所設置	20 .8 (1887年)	・中学校令に基づいて第五高等学校医学部を設置。9月、長崎医学校は廃止
8 (1875年)	・台湾出兵終了により、藩地事務支局病院の建物等が長崎県に復帰。政府補助のもと長崎病院を設置	23 .6 (1890年)	・第五高等学校医学部に薬学科を設置（薬学部の起源）
2	・長崎県小学教則講習所を養成所と改称	24 .9 (1891年)	・西彼杵郡浦上山里村に第五高等学校医学部 同薬学科が新築移転（坂本キャンパスの設置起源）
11	・官立長崎師範学校附属小学校開設	27 .9 (1894年)	・高等学校令に基づいて第五高等学校医学部は第五高等学校医学部及び同薬学科と改称
9 .1 (1876年)	・養成所を小学教師養成所と改称	31 .4 (1898年)	・師範教育令に基づいて、長崎県尋常師範学校は長崎県師範学校と改称
5	・小学教師養成所を長崎県公立師範学校と改称	34 .3 (1901年)	・専門学校令に基づいて、第五高等学校医学部は第五高等学校から分離独立し長崎医学専門学校及び同薬学科を設置
6	・長崎病院内に医学場を開設し、医学教育機関が再開		
10 .4 (1877年)	・長崎県公立師範学校を崎陽師範学校と改称		

36 (1903年)	・長崎県立長崎病院に附属看護婦養成所を設置	14 .5 (1939年)	・長崎医科大学に臨時附属医学専門部設置
38 .3 (1905年)	・長崎高等商業学校を設置（経済学部，片淵キャンパスの起源）	17 .3 (1942年)	・長崎県青年学校教員養成所女子部を諫早高等女学校内に開設
41 .4 (1908年)	・長崎県師範学校女子部が長崎県女子師範学校として分離独立	4	・長崎医科大学附属東亜風土病研究所設置（熱帯医学研究所の起源）
大正6 .5 (1917年)	・長崎高等商業学校に海外貿易科を設置	9	・長崎高等商業学校研究館を大東亜経済研究所と改称
9 .11 (1920年)	・長崎高等商業学校に研究館が寄附される（現在の瓊林会館）	18 .4 (1943年)	・師範教育令改正に基づいて，長崎県師範学校・長崎県女子師範学校が統合されて官立長崎師範学校となり，専門学校水準に昇格
10 (1921年)	・長崎県実業補習学校教員養成所を諫早町に設置	19 .3 (1944年)	・長崎高等商業学校を長崎経済専門学校に改称
11 .4 (1922年)	・長崎県より長崎病院が国に寄附され，これを長崎医学専門学校附属医院とする	4	・長崎経済専門学校に長崎工業経営専門学校を併設
	・附属医院に助産婦及看護婦養成所を設置		・師範教育令改正に基づいて，長崎県青年学校教員養成所（男子部・女子部）は官立長崎青年師範学校となり，専門学校水準に昇格，長崎県青年学校教員養成所水産科は廃止
12 .3 (1923年)	・官立医科大学官制によって長崎医学専門学校は長崎医科大学に昇格し，附属医学専門部及び附属薬学専門部を併置		・長崎医科大学の臨時附属医学専門部を附属医学専門部に改称
	・長崎医学専門学校附属医院は長崎医科大学附属医院となり，助産婦及看護婦養成所を併置	20 .6 (1945年)	・長崎医科大学附属医院産婆看護婦養成所を厚生女学部に改称
14 .4 (1925年)	・長崎医科大学附属医学専門部廃止	8	・長崎市に原爆投下
昭和3 (1928年)	・長崎県実業補習学校教員養成所に水産科新設（水産学部の起源）		長崎医科大学（附属医学専門部，附属薬学専門部を含む）897名，長崎師範学校54名，長崎高等商業学校27名，長崎青年師範学校1名の計979名の学生，教職員が犠牲となる
4 .2 (1929年)	・長崎医科大学附属医院助産婦及看護婦養成所を産婆看護婦養成所に改称		
3	・長崎高等商業学校に貿易別科設置		
12	・長崎医科大学附属野母臨海実験所落成		
10 .4 (1935年)	・長崎県実業補習学校教員養成所を長崎県立青年学校教員養成所と改称		
12 .4 (1937年)	・長崎県師範学校，西彼杵郡西浦上村に新築移転（現在の附属小・中学校敷地）		

・原爆被災後の復興の歴史は次のとおりです。

21 .4 (1946年)	・長崎工業経営専門学校廃止。大東亜経済研究所を産業経営研究所と改称	29 .4 (1954年)	・長崎大学大村分校を長崎大学分校と改称
	・長崎医科大学附属東亜風土病研究所，同風土病研究所と改称	30 .4 (1955年)	・経済学部へ経済学専攻科設置
22 .3 (1947年)	・長崎医科大学附属医学専門部廃止		・医学部に講座制施行
5	・長崎高等学校（旧制）設置		・大学院医学研究科設置
23 .4 (1948年)	・長崎青年師範学校に水産科再設置		・医学部に附属助産婦学校設置
24 .5 (1949年)	・国立学校設置法（昭和24年法律第150号）により，旧制の長崎医科大学，長崎医科大学附属薬学専門部，長崎経済専門学校，長崎師範学校，長崎青年師範学校，長崎高等学校を包括し，学芸学部（甲類・小学校教員養成科，中学校高等学校教員養成科，乙類・小学校教員養成科，中学校高等学校教員養成科），経済学部（経済学科，商学科），医学部（医学科），薬学部（薬学科），水産学部（漁業学科，水産製造学科，水産増殖学科）の5学部へ附属図書館を置き，風土病研究所が附置され，学部附属の学校又は教育施設として，学芸学部へ小学校，中学校，幼稚園，医学部に病院，病院分院，看護婦養成施設を持つ新制長崎大学を設置	31 .1 (1956年)	・補導部を学生部と改称
		4	・薬学部へ薬学専攻科設置
		35 .3 (1960年)	・長崎医科大学廃止
		4	・水産学部へ水産専攻科設置
		37 .4 (1962年)	・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置
		39 .4 (1964年)	・教養部設置（分校廃止）
			・水産学部へ附属練習船「長崎丸」設置
		40 .3 (1965年)	・薬学専攻科廃止
		4	・大学院薬学研究科設置
			・学芸学部へ学芸専攻科設置
		41 .4 (1966年)	・保健管理センター設置
			・工学部 機械工学科，電気工学科 設置
昭和25 .3 (1950年)	・長崎高等学校廃止		・学芸学部を教育学部と改称，これに伴い学芸専攻科を教育専攻科に改称
5	・大村一般教養部，長崎一般教養部を統合して大村分校設置		・教育学部へ看護学校教員養成課程設置
		42 .4 (1967年)	・薬学部へ製薬化学科設置
26 .3 (1951年)	・長崎大学商業短期大学部併設		・工学部へ構造工学科設置
	・医学部附属看護学校設置		・風土病研究所を熱帯医学研究所と改称
	・長崎医科大学附属薬学専門部，長崎経済専門学校，長崎師範学校，長崎青年師範学校廃止	6	・水産学部へ附属水産実験所設置
			・経済学部へ貿易学科設置
6	・厚生補導部を補導部と改称	43 .4 (1968年)	・工学部へ土木工学科設置
	・学芸学部が長崎市大橋町に移転（現在の文教キャンパス）	44 .4 (1969年)	・電子計算機室設置
28 .3 (1953年)		12	
4	・水産学部へ専攻科（特設専攻科）設置		

45 .4 (1970年)	<ul style="list-style-type: none"> ・水産専攻科改廃止（漁業専攻中の特設専攻科を遠洋漁業専攻と改称し、漁業専攻、水産製造専攻、水産増殖専攻は廃止） ・大学院水産学研究科設置 ・工学部に材料工学科設置 	51 .4 (1976年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部に電子工学科設置 ・大学院工学研究科設置 ・九州地区国立大学島原共同研修センター設置
46 .2 (1971年)	<ul style="list-style-type: none"> ・附属図書館の整備統合（教育学部分館、薬学部分館、水産学部分館、熱帯医学研究所分館廃止・経済学部分館、医学部分館は従来どおり存置） 	52 .4 (1977年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に土木工学専攻設置 ・工学専攻科廃止 ・歯学部創設準備室設置 ・商業短期大学部商業学科を商経学科（経済・法律専攻、経営情報専攻）と改称
4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部に附属養護学校設置 ・経済学部商学科を経営学科と改称 ・大学院薬学研究科に製薬化学専攻設置 	53 .3 (1978年)	<ul style="list-style-type: none"> ・R Iセンター設置
47 .4 (1972年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部に工業専攻科（機械工学、電気工学、構造工学）設置 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部に機械工学第二学科設置
5	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部に工業化学科設置 ・医学部に附属原爆医学資料センター設置 ・薬学部に附属薬用植物園設置 	54 .4 (1979年)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所に附属熱帯性病原体感染動物実験施設設置 ・附属図書館医学部分館を医学分館と改称
48 .4 (1973年)	<ul style="list-style-type: none"> ・水産学部の漁業学科、水産製造学科及び水産増殖学科を水産学科に改組 ・工学部工学専攻科に土木工学専攻設置 ・教育学部に附属教育工学センター設置 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理センター設置（電子計算機室廃止）
49 .4 (1974年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院水産学研究科漁業学専攻、水産製造学専攻及び水産増殖学専攻を水産学専攻に改称 ・工学部工学専攻科に材料工学専攻設置 ・教育学部に幼稚園教員養成課程設置 ・医学部附属原爆医学資料センターを医学部附属原爆被災学術資料センターと改称 ・熱帯医学研究所に附属熱帯医学資料室設置 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・歯学部歯学科設置 ・歯学部創設準備室廃止
50 .4 (1975年)	<ul style="list-style-type: none"> ・水産学部に附属練習船「鶴洋丸」設置 ・排水等分析センター設置 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・排水等分析処理センター設置（排水等分析センター廃止）
6		55 .4 (1980年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部に附属動物実験施設設置 ・歯学部に附属病院創設準備室設置
		56 .4 (1981年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に電子工学専攻設置
		57 .4 (1982年)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯学部附属病院設置 ・歯学部附属病院創設準備室廃止 ・商業短期大学部商経学科の専攻課程を2専攻課程から3専攻課程（経済専攻、経済法学専攻、経営情報専攻）に改組
		58 .4 (1983年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に機械工学第二専攻設置 ・医療技術短期大学部創設準備室設置 ・国際交流会館設置

59 .4 (1984年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部（看護学科）併設 ・医療技術短期大学部創設準備室廃止 ・商業短期大学部を商科短期大学部と改称 ・水産学部水産学科18講座を6大講座に改組 	平成元 .5 (1989年)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所を全国共同利用の研究所に改組
10	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部に理学療法学科及び作業療法学科設置 	2 .4 (1990年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部機械工学科及び機械工学第二学科を機械システム工学科に改組
61 .4 (1986年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属看護学校廃止 ・大学院歯学研究科設置 ・薬学研究科に医療薬科学専攻（博士課程前・後期）設置（薬学専攻及び製薬化学専攻を改組） ・薬学部の薬学科及び製薬化学科を薬科学科に改組 ・教育学部に附属教育実践研究指導センター設置（附属教育工学センター廃止） 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・6地域共同研究センター設置
6	<ul style="list-style-type: none"> ・計測・分析センター設置 ・外国人留学生指導センター設置 	3 .4 (1991年)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学部経済学科8学科目を3大学科目に、経営学科8学科目を2大学科目に、貿易学科6学科目をファイナンス学科2大学科目に改組、2共通学科目を廃止
9	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全センター設置（排水等分析処理センター廃止） 	4 .4 (1992年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部構造工学科4講座を2大講座に、土木工学科4講座を社会開発工学科2大講座に、材料工学科4講座を2大講座に、工業化学科4講座を応用化学科2大講座に改組
62 .4 (1987年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属助産婦学校廃止 ・工学研究科に海洋生産開発学専攻（後期3年博士課程）設置 ・医療技術短期大学部に専攻科（助産学特別専攻）設置 	5 .4 (1993年)	<ul style="list-style-type: none"> ・アイソトープ総合センター設置（R Iセンター廃止）
63 .4 (1988年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院海洋生産科学研究科（後期3年博士課程）設置 ・大学院工学研究科海洋生産開発学専攻は、海洋生産科学研究科へ移行 ・工学部電気工学科及び電子工学科を電気情報工学科に改組 ・総合情報処理センター設置（情報処理センター廃止） 	6 .4 (1994年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院工学研究科電気工学専攻及び電子工学専攻を電気情報工学専攻と改称 ・生涯学習教育研究センター設置 ・大学院教育学研究科設置 ・教育専攻科廃止
		7 .4 (1995年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院工学研究科機械工学専攻及び機械工学第二専攻を機械システム工学専攻と改称 ・熱帯医学研究所10部門を3大部門に改組 ・大学院経済学研究科設置 ・経済学専攻科廃止
		8 .5 (1996年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院工学研究科土木工学専攻を社会開発工学専攻に、工業化学専攻を応用化学専攻に改称 ・留学生センター設置（外国人留学生指導センター廃止）
		9 .4 (1997年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置（附属原爆後障害医療研究施設及び附属原爆被災学術資料センター廃止）

	<ul style="list-style-type: none"> ・水産学部に附属海洋資源教育研究センター設置（附属水産実験所廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯病資料情報センター設置（附属熱帯医学資料室廃止） 	13 .4 (2001年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生産科学研究科海洋生産開発学専攻及び海洋資源学専攻を海洋生産科学専攻及び物質科学専攻に改組
10	<ul style="list-style-type: none"> ・環境科学部（環境科学科）設置 ・教養部廃止 ・経済学部経済学科，経営学科及びファイナンス学科を総合経済学科に改組（昼夜開講制の実施） 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部に附属教育実践総合センター設置（附属教育実践研究指導センター廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯感染症研究センター設置（附属熱帯病資料情報センター廃止） ・医学部医学科の31小講座，1大講座を6大講座に改組
10 .4 (1998年)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部小学校教員養成課程，中学校教員養成課程，養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程を学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程に改組 ・大学院教育学研究科教科教育専攻に保健体育専修及び家政教育専修設置 ・工学部電気情報工学科を電気電子工学科及び情報システム工学科に改組 ・機器分析センター設置（計測・分析センター廃止） 	14 .4 (2002年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部に保健学科設置 ・大学院環境科学研究科設置 ・大学院医歯薬学総合研究科設置 ・大学教育機能開発センター設置 ・アドミッションセンター設置 ・医学部医学科の6大講座を4大学科目に改組 ・歯学部歯学科の18小講座を3大学科目に改組
11 .4 (1999年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院薬学研究科に臨床薬学専攻（独立専攻）を設置し，医療薬科学専攻を薬科学専攻に改称 ・副学長の設置（学生部長の廃止） ・事務局及び学生部の事務局一元化に伴い，学務部設置（学生部の廃止） 	15 .4 (2003年)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学部薬科学科の4大講座を2大学科目に改組 ・大学院医歯薬学総合研究科に附属原爆後障害医療研究施設及び附属薬用植物園設置（学部附属施設から研究科附属施設へ移行） ・先導生命科学研究支援センター設置（アイソトープ総合センター，遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設の廃止）
12 .4 (2000年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院教育学研究科教科教育専攻に社会科学教育専修及び理科教育専修設置 ・大学院医学研究科に新興感染症病態制御学系専攻（独立専攻）設置 ・大学院生産科学研究科（区分制博士課程）設置 ・遺伝子実験施設設置 ・長崎大学商科短期大学部（併設）廃止 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部・歯学部附属病院設置（医学部附属病院及び歯学部附属病院の統合）
		16 .4 (2004年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国立大学法人法（平成15年法律第112号）により，国立大学法人長崎大学が長崎大学を設置 ・大学院経済学研究科に経営意思決定専攻（博士後期課程）設置

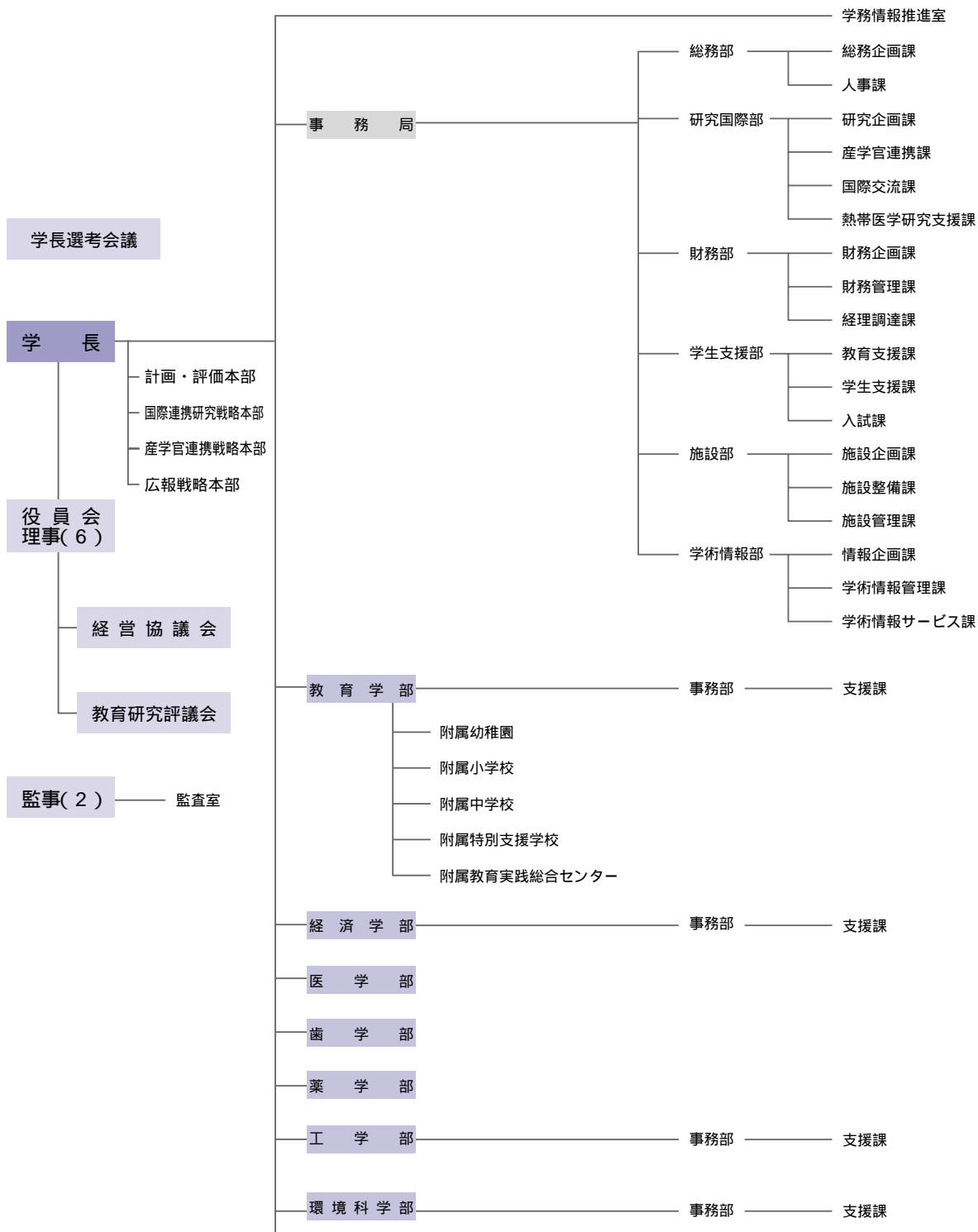
	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生産科学研究科に環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻（博士前期課程）並びに環境科学専攻（博士後期課程）設置 ・水産学部の水産専攻科廃止 ・知的財産本部設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・大学院国際健康開発研究科設置 ・熱帯医学研究所に附属アジア・アフリカ感染症研究施設及び附属熱帯医学ミュージアム設置（附属熱帯感染症研究センター廃止） ・保健管理センターを保健・医療推進センターに改組
12	<ul style="list-style-type: none"> ・情報メディア基盤センター設置（総合情報処理センターの廃止） ・共同研究交流センター設置（地域共同研究センター，機器分析センター及び環境保全センターの廃止） 	21 .4 (2009年) 10	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部・歯学部附属病院を病院に改組 ・男女共同参画推進センター設置（時限設置）
17 .4 (2005年)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画・評価本部設置 ・国際連携研究戦略本部設置 ・環東シナ海海洋環境資源研究センター設置（水産学部附属海洋資源教育研究センターの廃止） ・心の教育総合支援センター設置（時限設置） ・長崎大学医療技術短期大学部（併設）廃止 	22 .4 (2010年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（修士課程）設置 ・広報戦略本部設置 ・国際連携研究戦略本部東京オフィス設置 ・先端計算研究センター設置
18 .2 (2006年) 4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院海洋生産科学研究科廃止 ・大学院医歯薬学総合研究科に熱帯医学専攻（修士課程）及び保健学専攻（修士課程）設置 ・薬学部薬科学科を6年制課程の薬学科及び4年制課程の薬科学科に改組 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連携研究戦略本部東京オフィスを長崎大学東京事務所に改組 ・工学部7学科（機械システム工学科，電気電子工学科，情報システム工学科，構造工学科，社会開発工学科，材料工学科及び応用化学科）を1学科（工学科）に改組 ・大学院工学研究科及び大学院水産・環境科学総合研究科設置（大学院生産科学研究科を改組） ・環東シナ海海洋環境資源研究センターを大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターに改組
5	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院歯学研究科廃止 	23 .4 (2011年)	<ul style="list-style-type: none"> ・環東シナ海海洋環境資源研究センターを大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターに改組 ・心の教育総合支援センターの廃止
7	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携機構設置 		
19 .2 (2007年) 3	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院薬学研究科廃止 ・大学院環境科学研究科廃止 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携戦略本部設置（知的財産本部，共同研究交流センター及び生涯学習教育研究センターの廃止）
20 .4 (2008年)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程の2課程を学校教育教員養成課程の1課程に改組 ・大学院教育学研究科に教科実践専攻（修士課程）及び教職実践専攻（専門職学位課程）設置 		

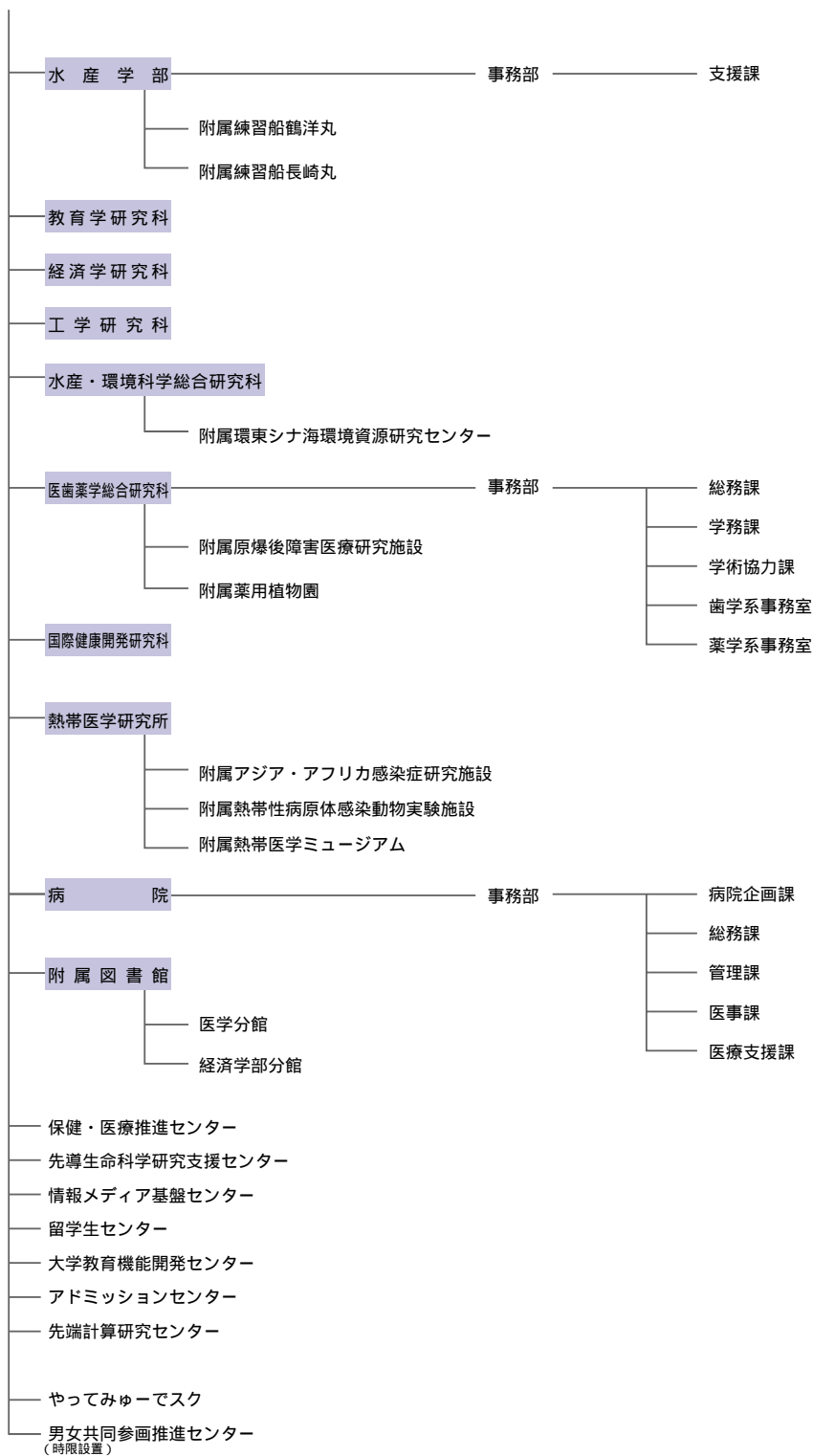


組 織

機 構 図

2011.7.1







歴代学長

初代	高瀬 清	(任期：昭和24年6月29日～昭和27年6月5日)
(事務取扱)	池田 晋吾	(任期：昭和27年6月6日～昭和27年11月17日)
第2代	古屋野 宏平	(任期：昭和27年11月18日～昭和33年11月17日)
第3代	北村 精一	(任期：昭和33年11月18日～昭和37年11月17日)
第4代	和泉 成之	(任期：昭和37年11月18日～昭和41年11月17日)
第5代	後藤 敏郎	(任期：昭和41年11月18日～昭和44年4月3日)
(事務取扱)	栗原 道徳	(任期：昭和44年4月4日～昭和44年5月6日)
第6代	中塚 正行	(任期：昭和44年5月7日～昭和49年7月31日)
(事務取扱)	保田 正人	(任期：昭和49年8月1日～昭和49年10月10日)
第7代	具島 兼三郎	(任期：昭和49年10月11日～昭和55年10月10日)
第8代	福見 秀雄	(任期：昭和55年10月11日～昭和59年10月10日)
第9代	保田 正人	(任期：昭和59年10月11日～昭和63年10月10日)
第10代	土山 秀夫	(任期：昭和63年10月11日～平成4年10月10日)
第11代	横山 哲夫	(任期：平成4年10月11日～平成10年10月10日)
第12代	池田 高良	(任期：平成10年10月11日～平成14年10月10日)
第13代	齋藤 寛	(任期：平成14年10月11日～平成20年10月10日)
第14代	片峰 茂	(任期：平成20年10月11日～現在)

役員会				2011 .10 .12	
議長	片峰 茂	学長		鳥越 定雄	理事（総務・財務担当）
	須齋 正幸	理事（国際・危機管理担当）		河野 茂	理事（病院担当）
	調 漸	理事（研究・社会貢献担当）		東條 正	理事（人事・組織改革担当）

学長選考会議委員				2011 .10 .1	
議長	崎元 達郎	放送大学熊本学習センター所長		東條 正	理事（人事・組織改革担当）
	潮谷 義子	長崎国際大学長		山路 裕昭	教育学部長
	室田 匡之	三菱重工業(株)長崎造船所副所長		松山 俊文	医学部長
	中島 洋	長崎県立長崎図書館長		中山 守雄	薬学部長
	宮脇 雅俊	(株)十八銀行代表執行役頭取		佐久間 正	環境科学部長
	矢野 右人	長崎県病院企業団企業長		石松 隆和	工学研究科長
	調 漸	理事（研究・社会貢献担当）		中田 英昭	水産・環境科学総合研究科長

経営協議会委員				2011 .10 .12	
議長	片峰 茂	学長		池上 清子	国連人口基金東京事務所長
	須齋 正幸	理事（国際・危機管理担当）		崎元 達郎	放送大学熊本学習センター所長
	河野 茂	理事（病院担当）		潮谷 義子	長崎国際大学学長
	鳥越 定雄	理事（総務・財務担当）		杉田 亮毅	日本経済新聞社代表取締役会長
	山路 裕昭	教育学部長		中島 洋	長崎県立長崎図書館長
	松山 俊文	医学部長		中村 法道	長崎県知事
	石松 隆和	工学研究科長		福地 茂雄	アサヒビール株式会社相談役
	中田 英昭	水産・環境科学総合研究科長		宮脇 雅俊	(株)十八銀行取締役代表執行役頭取
	竹内 勤	熱帯医学研究所長		室田 匡之	三菱重工業(株)長崎造船所副所長
				矢野 右人	長崎県病院企業団企業長
				山口 祥義	総務省自治行政局過疎対策室長

教育研究評議会評議員				2011 .10 .12	
議長	片峰 茂	学長		橘 勝康	水産学部長
	須齋 正幸	理事（国際・危機管理担当）		石松 隆和	工学研究科長
	調 漸	理事（研究・社会貢献担当）		中田 英昭	水産・環境科学総合研究科長
	河野 茂	理事（病院担当）		小路 武彦	医歯薬学総合研究科長
	東條 正	理事（人事・組織改革担当）		青木 克己	国際健康開発研究科長
	山路 裕昭	教育学部長		竹内 勤	熱帯医学研究所長
	岡田 裕正	経済学部長		姫野 順一	附属図書館長
	松山 俊文	医学部長		丹羽 正美	先端生命科学支援センター長
	林 善彦	歯学部長		鳥越 定雄	事務局長
	中山 守雄	薬学部長		松坂 誠應	医学部保健学科長
	佐久間 正	環境科学部長			



役職員

役員

学長	片峰 茂
理事（国際・危機管理担当）	須齋 正幸
理事（人事・組織改革担当）	東條 正
理事（研究・社会貢献担当）	調 漸
理事（総務・財務担当）	鳥越 定雄
理事（病院担当）	河野 茂
監事	福島 昭二
監事（非常勤）	里 隆光

副学長

グローバル人材育成担当	須齋 正幸
人事制度改革担当	東條 正
地域連携担当	調 漸
広報・男女共同参画担当	大井久美子
情報担当	松田 浩
全学教育担当	橋本 健夫
学生担当	堀内 伊吹
入試担当	山口 恭弘
研究企画担当	中山 浩次
産学連携・環境・施設担当	山下 敬彦
ライフ・イノベーション担当	畑山 範

計画・評価本部

本部長	片峰 茂
-----	------

国際連携研究戦略本部

本部長（事務取扱）	青木 克己
-----------	-------

産学官連携戦略本部

本部長	山下 敬彦
-----	-------

広報戦略本部

本部長	大井久美子
-----	-------

監査室

室長	金井 洋
----	------

学務情報推進室

室長	橋本 健夫
----	-------

事務局

事務局長	鳥越 定雄
総務部長	中禮 裕己
総務企画課長	八島 崇
人事課長	執行 正一
研究国際部長	松尾 淳
研究企画課長	辻山 隆
産学官連携課長	森山 良英
国際交流課長	佐藤 照明
熱帯医学研究支援課長	泉川 正純
財務部長	江崎 俊光
財務企画課長	市川 修
財務管理課長	小門 一則
経理調達課長	浦川 賢治
学生支援部長	中村 浩之
教育支援課長	那須 純次
学生支援課長	松林 聰
入試課長	宮原 俊夫
施設部長	宮浦 祐一
施設企画課長	梅宮 兵衛
施設整備課長	山中 泰
施設管理課長	中之園昭一
学術情報部長	西山 常清
情報企画課長	上野 恒信
学術情報管理課長	叶井貫一郎
学術情報サービス課長	高木 貞治

学部等

教育学部

教育学部長	山路 裕昭
教育学部支援課長	森 良介
附属幼稚園長	元田美智子
附属小学校長	嘉松弘一郎
附属中学校長	風間伸二郎
附属特別支援学校長	池田 英俊
附属教育実践総合センター長	佐藤 敬助

経済学部

経済学部長	岡田 裕正
経済学部支援課長	前田 忠一

医学部		
医学部長		松山 俊文
歯学部		
歯学部長		林 善彦
薬学部		
薬学部長		中山 守雄
工学部		
工学部長		石松 隆和
工学部支援課長		橋田 徹
環境科学部		
環境科学部長		佐久間 正
環境科学部支援課長		石井 浩二
水産学部		
水産学部長		橘 勝康
水産学部支援課長		横山 義則
附属練習船鶴洋丸船長		兼原 壽生
附属練習船長崎丸船長		吉村 浩

大学院		
教育学研究科長		山路 裕昭
経済学研究科長		岡田 裕正
工学研究科長		石松 隆和
水産・環境科学総合研究科長		中田 英昭
附属環東シナ海環境資源研究センター長		征矢野 清
医学研究科長		松山 俊文
生産科学研究科長		中田 英昭
医歯薬学総合研究科長		小路 武彦
事務部長		江川 長一
総務課長		坂口 力
学務課長		濱野 敏郎
学術協力課長		寺原 良二
歯学系事務室長		徳永 哲郎
薬学系事務室長		南里 善久
附属原爆後障害医療研究施設長		永山 雄二
附属薬用植物園長		中山 守雄
国際健康開発研究科長		青木 克己

附置研究所		
熱帯医学研究所長		竹内 勤
附属アジア・アフリカ感染症研究施設長		竹内 勤
附属熱帯性病原体感染動物実験施設長		濱野真二郎
附属熱帯医学ミュージアム館長		皆川 昇

病院		
病院長		河野 茂
事務部長		丸野 和年
病院企画課長		調 卓二
総務課長		大西 文昭
管理課長		菅原 親雄
医事課長		坂井光太郎
医療支援課長		山野 恵一
薬剤部長		佐々木 均
看護部長		田添 京子

附属図書館		
附属図書館長		姫野 順一
医学分館長		森 望
経済学部分館長		赤石 孝次

保健・医療推進センター		
センター長		調 漸

学内共同教育研究施設		
先導生命科学研究支援センター長		丹羽 正美
情報メディア基盤センター長		松田 浩
留学生センター長		須齋 正幸
大学教育機能開発センター長		橋本 健夫
アドミッションセンター長		山口 恭弘
先端計算研究センター長		調 漸

やってみゅーでスク		
デスク長		堀内 伊吹

九州地区国立大学島原共同研修センター		
所長		堀内 伊吹



役員・職員数

2011.5.1
(人)

部局名	区分	役員・職員									計	その他職員	合計	
		学長	理事	監事	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手				教諭
計画・評価本部													1	1
国際連携研究戦略本部						3		1	4				8	8
広報戦略本部					1								1	5
知的財産本部					1				2				3	1
監査室														3
事務局		1	6	(1)	[7]								[7]	212
教育学部						41	23	1					65	14
附属幼稚園												7	7	1
附属小学校												30	30	2
附属中学校												25	25	1
附属特別支援学校												28	28	2
附属教育実践総合センター						2							2	
経済学部						29	21	2	2				54	15
工学部														16
環境科学部														9
水産学部														14
附属練習船鶴洋丸							2		1				3	12
附属練習船長崎丸						1	2		2				5	17
教育学研究科						3	5						8	
工学研究科						47	40		31	1			119	45
水産・環境科学総合研究科						49	35	1	3				88	
附属環東シナ海環境資源研究センター						3	1		2				6	
医歯薬学総合研究科						90	70	22	154				336	79
附属原爆後障害医療研究施設						9	4		16				29	3
附属薬用植物園							1						1	
国際健康開発研究科						3							3	
熱帯医学研究所						13	6	2	31	2			54	4
附属アジア・アフリカ感染症研究施設						2			2				4	
附属熱帯病原体感染動物実験施設										1			1	
附属熱帯医学ミュージアム						1							1	
病院						2	16	57	144				219	1,105
保健・医療推進センター						1	4		1				6	11
先導生命科学研究支援センター						2	1		3				6	5
情報メディア基盤センター						3	2		2				7	
共同研究交流センター							2		1				3	4
生涯学習教育研究センター							1						1	
留学生センター						1	3	1					5	
大学教育機能開発センター						5	5	2					12	
アドミッションセンター							2		1				3	
先端計算研究センター							1		1				2	
男女共同参画推進センター									1				1	3
やってみゅーでスク								1					1	
合計		1	6	(1)	[7]	312	248	89	404	4	90	[7]	1,147	1,592
														(1,747)

1 監事(1)は、非常勤役員で外数。副学長[7]は、教育職員の兼務で内数。
2 印の部局は平成23年6月1日より統合され「産学官連携戦略本部」へとなる。



教育研究等

学 部		
学 部	課 程	講 座
教育学部 1 課程 6 講座	学校教育教員養成課程	国際文化 数理情報 芸術表現 生活健康 人間発達 初等教育
経済学部 1 学科 6 講座	総合経済学科	理論・計量経済 地域・経済政策 経済協力・国際コミュニケーション 金融システム 企業行動・意思決定 経営管理・企業会計
医学部 2 学科 7 学科目	医学科	形態・機能・代謝学 病態解析医学 疾患制御医学 社会医学
	保健学科	看護学 理学療法学 作業療法学
歯学部 1 学科 3 学科目	歯学科	顎口腔生体科学 顎口腔環境科学 顎口腔再生医療科学
薬学部 2 学科 4 学科目	薬学科	基礎薬学 医療薬学
	薬科学科	基礎薬科学 応用薬科学
工学部 1 学科 6 コース	工学科	機械工学 電気電子工学 情報工学 構造工学 社会環境デザイン工学 化学・物質工学
環境科学部 1 学科 2 学系	環境科学科	人間社会環境 環境保全設計
水産学部 1 学科 4 講座	水産学科	海洋生産システム学 海洋資源動態科学 海洋生物機能科学 海洋物質科学

大 学 院		
学 部	課 程	講 座
教育学研究科	修士課程	教科実践専攻
	専門職学位課程	教職実践専攻
経済学研究科	博士課程 (前期)	経済経営政策専攻
	博士課程 (後期)	経営意思決定専攻

学 部	課 程	講 座
工学研究科	博士前期課程	総合工学専攻
	博士後期課程	生産システム工学専攻
	博士課程 (5年一貫制)	グリーンシステム創成科学専攻
水産・環境科学 総合研究科	博士課程 (前期)	水産学専攻 環境共生政策学専攻 環境保全設計学専攻
	博士課程 (後期)	環境海洋資源学専攻
	博士課程 (5年一貫制)	海洋フィールド生命科学専攻
生産科学研究科	博士課程 (前期)	機械システム工学専攻 電気情報工学専攻 環境システム工学専攻 物質工学専攻 水産学専攻 環境共生政策学専攻 環境保全設計学専攻
	博士課程 (後期)	システム科学専攻 海洋生産科学専攻 物質科学専攻 環境科学専攻
医歯薬学 総合研究科	修士課程	熱帯医学専攻 保健学専攻 生命薬科学専攻
	博士課程	医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻
	博士課程 (後期)	生命薬科学専攻
国際健康 開発研究科	修士課程	国際健康開発専攻

学 年 歴

4月	1日(金) 学年始	11月	19日(土)~20日(日) 学園祭
	4日(月) 入学式		21日(月) 臨時休業日
5月	31日(火) 開学記念日	12月	12月27日(火)~1月5日(木) 冬季休業
6月		1月	
7月		2月	
8月	8月13日(土)~9月30日(金) 夏季休業	3月	3月21日(水)~4月2日(月) 春季休業
9月			23日(金) 卒業式
10月	1日(土) 後期授業開始		31日(土) 学年終



附属施設等

附置研究所 熱帯医学研究所

研究部門（研究分野）	総合目標
病原体解析 ウイルス学，新興感染症学，細菌学，原虫学，寄生虫学，分子疫学 宿主病態解析 免疫遺伝学，感染生化学，病理学，エイズ・感染防御 環境医学 生態疫学，国際保健学，国際健康開発政策学，病害動物学 臨床研究 臨床感染症学，小児感染症学，臨床開発学	1．熱帯医学及び国際保健における先導的研究 2．研究成果の応用による熱帯病の防圧並びに健康増進への国際貢献 3．上記に係る研究者と専門家の育成

附属図書館

蔵書数

2011.4.1

館名	図書数			雑誌の種類		
	和漢書	洋書	計	和文	欧文	計
中央図書館	413,414	134,305	547,719	11,759	3,384	15,143
医学分館	81,562	75,366	156,928	3,428	3,297	6,725
経済学部分館	185,397	81,891	267,288	2,950	1,093	4,043
計	680,373	291,562	971,935			

利用状況

2011.3.31

館名	区分	教職員	学生	その他	計
中央図書館	入館者数	346,441		14,321	360,762
	貸出冊数	4,929	40,570	1,322	46,821
医学分館	入館者数	110,451		3,006	113,457
	貸出冊数	1,497	12,647	932	15,076
経済学部分館	入館者数	60,773		1,191	61,964
	貸出冊数	1,334	8,185	131	9,650
計	入館者数	517,665		18,518	536,183
	貸出冊数	7,760	61,402	2,385	71,547

病 院 (平成22年度)

診療科別患者数

(人)

診療科等名	区 分	入院患者数		外来患者数	
		延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数
内分泌・代謝内科		3,490	9.6	13,219	55.3
消化器内科		22,785	62.4	18,710	78.3
リウマチ・膠原病内科		6,866	18.8	9,708	40.6
神経内科		7,312	20.0	7,560	31.6
呼吸器内科		18,847	51.6	12,758	53.4
腎臓内科		3,515	9.6	6,865	28.7
循環器内科		14,675	40.2	16,743	70.1
血液内科		15,016	41.1	8,914	37.3
感染症内科		0	0.0	416	1.7
呼吸器外科		3,652	10.0	2,211	9.3
消化器外科第一		10,415	28.5	4,168	17.4
消化器外科第二		14,323	39.2	5,901	24.7
泌尿器科		12,775	35.0	15,378	64.3
心臓血管外科		9,125	25.0	3,466	14.5
乳腺・内分泌外科		2,891	7.9	6,893	28.8
脳神経外科		11,754	32.2	8,514	35.6
眼科		10,544	28.9	18,655	78.1
耳鼻咽喉科		10,796	29.6	15,380	64.4
皮膚科・アレルギー科		7,365	20.2	16,115	67.4
形成外科		6,951	19.0	6,029	25.2
整形外科		17,381	47.6	17,070	71.4
小児科		14,117	38.7	12,670	53.0
小児外科		3,470	9.5	2,814	11.8
産科婦人科		18,113	49.6	14,355	60.1
精神科神経科		13,635	37.4	18,418	77.1
放射線科		6,405	17.5	9,310	39.0
麻酔科		110	0.3	9,014	37.7
総合診療科		2,206	6.0	5,156	21.6
国際ヒバクシャ医療センター		464	1.3	1,059	4.4
救命救急センター		1,715	4.7	3,520	14.7
生活習慣予防診療部		0	0.0	2,494	10.4
小 計		270,713	742	293,483	1,228

診療科等名		入院患者数		外来患者数	
		延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数
総合歯科	予防歯科室	0	0.0	65,791	271.9
	矯正歯科室				
	小児歯科室				
	虫歯治療室				
	歯周病治療室				
	冠補綴治療室				
義歯補綴治療室					
顎・口腔外科	口腔顎顔面外科室	4,125	11.3	10,590	43.8
	顎口腔再生外科室	3,184	8.7	9,946	41.1
診断管理科	歯科放射線室	82	0.2	2,364	9.8
	麻酔・生体管理室				
特殊歯科総合治療部		0	0.0	6,664	27.5
医療教育開発センター		0	0.0	6,523	27.0
口腔ケア・摂食・嚥下リハビリテーションセンター		0	0.0	8,652	35.8
口腔・顎・顔面インプラントセンター		65	0.2	3,773	15.6
小計		7,456	20	114,303	472
合計		278,169	762	407,786	1,700

*入院日数 = 365日，外来診療日数 = 242日，1日平均患者数は小数点第2位を四捨五入し小数点第1位までを記載。

教育学部附属学校・園

2011.5.1(人)

区 分	学級区分	学 年		学 級 数	学級定員	総 定 員	現 員
附属幼稚園	3 歳児	三年保育	1	20	20	24	
		二年保育	2	40	60	34	
	4 歳児	三年保育	2	20	60	24	
		二年保育	2	40	60	36	
	5 歳児	三年保育	2	20	60	24	
		計		5		140	142
附属小学校	普通学級	1	3	30	90	90	
		2	3	30	90	90	
		3	3	30	90	88	
		4	3	40	120	108	
		5	3	40	120	99	
		6	3	40	120	98	
	複式学級	1	1	16	16	8	
		2	1	16	16	7	
		3	1	16	16	8	
		4	1	16	16	8	
		5	1	16	16	8	
		6	1	16	16	8	
計		21		678	620		
附属中学校	普通学級	1	4	35	140	142	
		2	4	35	140	144	
		3	4	35	140	143	
	計		12		420	429	
附属 特別支援 学 校	普通学級 (2学年複式)	小学部	1	1	6	18	2
			2	1	6		3
			3	1	6		3
			4	1	6		4
			5	1	6		2
			6	1	6		0
	普通学級	中学部	1	1	6	18	6
			2	1	6		5
			3	1	6		5
	普通学級	高等部	1	1	8	24	8
			2	1	8		8
			3	1	8		8
	計		9		60	54	

学部等附属教育研究施設

教育学部
教育実践総合センター
水産学部
附属練習船鶴洋丸
附属練習船長崎丸
熱帯医学研究所
附属アジア・アフリカ感染症研究施設
附属熱帯性病原体感染動物実験施設
附属熱帯医学ミュージアム

水産・環境科学総合研究科
附属環東シナ海環境資源研究センター
医歯薬学総合研究科
附属原爆後障害医療研究施設
附属薬用植物園

保健・医療推進センター

2011.5.1(人)

職員(数)	センター長	教授	准教授	助教	保健師	カウンセラー	事務員	計	学 校 医				
									内科	皮膚科	産科婦人科	眼科	歯科
	[1]	1	4	1	3	6	2	17 [1]	4	1	1	1	1

備考 保健・医療推進センター(相談日)...毎日
坂本分室(相談日).....金曜日
(注)[]は併任を示し外数

学内共同教育研究施設等

先導生命科学研究支援センター
アイソトープ実験施設
動物実験施設
遺伝子実験施設
情報メディア基盤センター

留学生センター
大学教育機能開発センター
アドミッションセンター
先端計算研究センター
男女共同参画推進センター



特色ある教育・研究

特色ある研究

グローバル COE プログラム

放射線健康リスク制御国際戦略拠点

採択年度	拠点リーダー	研究分野	拠点のプログラム名称
平成19～23年度	医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻 山下俊一教授	学際，複合，新領域	放射線健康リスク制御国際戦略拠点

熱帯病・新興感染症の地球規模統合制御戦略

採択年度	拠点リーダー	研究分野	拠点のプログラム名称
平成20～24年度	熱帯医学研究所 平山謙二教授	医学系	熱帯病・新興感染症の地球規模統合制御戦略

文部科学省科学技術振興調整費

若手研究者の自立的な研究環境整備促進

採択年度	課 題 名
平成19～23年度	地方総合大学における若手人材育成戦略

特色ある教育

：補助期間中

：補助期間終了

質の高い大学教育推進プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
地域医療人育成プラットフォームの構築	医学部	平成20～22年度

特色ある大学教育支援プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
地域と連携した実践型医学教育プログラム	医学部	平成16～19年度
特色ある初年次教育の実践と改善	大学全体	平成15～18年度
ものづくりを支える工学力教育の拠点形成 (新潟大学 代表校 , 長崎大学ほか1大学 連携校)	工学部	平成15～18年度

現代的教育ニーズ取組支援プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
PAT プログラムによる地域共生力の育成	教育学部	平成19～21年度
現代『出島』発の国際人育成と長崎蘭学事始	大学全体	平成18～20年度
健全な社会を支える技術者の育成	工学部	平成18～20年度

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
学生が自ら育む人間関係力醸成プログラム	大学全体	平成19～22年度

組織的な大学院教育改革推進プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
国際連携による熱帯感染症専門医の養成	医歯薬学総合研究科	平成21～23年度
新興金融市場分析の専門家育成プログラム	経済学研究科	平成20～22年度
国際保健分野特化型の公衆衛生学修士コース	国際健康開発研究科	平成20～22年度

「魅力ある大学院教育」イニシアティブ

取組名称	取組部局	取組期間
海洋環境・資源の回復に寄与する研究者養成	生産科学研究科	平成17～18年度
国際的感染症研究者・専門医養成プログラム	医歯薬学総合研究科	平成17～18年度

大学の世界展開力強化事業

取組名称	取組部局	取組期間
日中韓の大学間連携による水環境技術者育成	工学研究科	平成22～26年度

資質の高い教員養成推進プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
出会い，研鑽，臨床で育む高度な支援力	教育学研究科	平成18～19年度

大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
在宅医療と福祉に重点化した薬学と看護学の統合教育と チーム医療総合職養成の拠点形成 (長崎大学<代表校>，長崎県立大学ほか1大学<連携校>)	薬学部	平成21～23年度

がんプロフェッショナル養成プラン

取組名称	取組部局	取組期間
九州がんプロフェッショナル養成プラン (九州大学 代表校 ，長崎大学ほか11大学 連携校)	医歯薬学総合研究科	平成19～23年度

周産期医療環境整備事業（NICU 等設置）

取組名称	取組部局	取組期間
長崎大学 周産期医療環境整備事業（NICU 等設置）	病院	平成21～24年度

大病院間の相互連携による優れた専門医等の養成

取組名称	取組部局	取組期間
出島発，肥前の国専門医養成プログラム (長崎大学 代表校 ，佐賀大学ほか7大学 連携校)	病院	平成20～24年度
地域発信・統合型専門医養成プログラム (富山大学 代表校 ，長崎大学ほか21大学 連携校)	病院	平成20～24年度
多極連携型専門医・臨床研究医育成事業 (琉球大学 代表校 ，長崎大学ほか27大学 連携校)	病院	平成20～24年度

地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
大学発“病院再生”による地域医療人育成	病院	平成17～19年度

地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
女性医師の麻酔科復帰支援プロジェクト	病院	平成18～20年度



学生数等

学生数

2011.5.1

学部

(人)

学部	学科・課程	入学定員	編入学定員	収容定員	現 員						計	
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
教育学部	学校教育教員養成課程	240	-	960	251	247	244	272	-	-	1,014	
	情報文化教育課程	-	-	-	-	-	-	12	-	-	12	
	計	240	-	960	251	247	244	284	-	-	1,026	
経済学部	総合経済学科	昼間コース	355	-	1,420	367	359	367	499	-	-	1,592
		夜間生コース	60	-	240	60	60	65	104	-	-	289
			-	15	30	-	-	-	-	-	-	-
	計	415	15	1,690	427	419	432	603	-	-	1,881	
医学部	医学科	116	5	641	119	117	112	98	106	115	667	
	保健学科	106	14	452	107	106	126	116	-	-	455	
	計	222	19	1,093	226	223	238	214	106	115	1,122	
歯学部	歯学科	50	-	315	50	53	52	55	51	49	310	
薬学部	薬学科	40	-	240	42	39	40	41	40	40	242	
	薬科学科	40	-	160	49	39	40	49	-	-	177	
	計	80	-	400	91	78	80	90	40	40	419	
工学部	工学科	380	-	380	409	-	-	-	-	-	409	
	機械システム工学科	-	-	240	-	83	79	109	-	-	271	
	電気電子工学科	-	-	240	-	85	86	114	-	-	285	
	情報システム工学科	-	-	150	-	51	53	74	-	-	178	
	構造工学科	-	-	120	-	44	46	59	-	-	149	
	社会開発工学科	-	-	150	-	51	44	65	-	-	160	
	材料工学科	-	-	150	-	51	51	76	-	-	178	
	応用化学科	-	-	150	-	57	53	62	-	-	172	
	各学科共通	-	10	20	-	-	-	-	-	-	-	
計	380	10	1,600	409	422	412	559	-	-	1,802		
環境科学部	環境科学科	140	10	580	141	137	156	199	-	-	633	
水産学部	水産学科	110	-	440	117	111	114	139	-	-	481	
合計		1,637	54	7,078	1,712	1,690	1,728	2,143	197	204	7,674	

2011.5.1
(人)

大学院

研究科	修士・博士前期課程						博士・博士後期課程						
	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
教育学研究科	18	36	12	16	1	29	-	-	-	-	-	-	-
経済学研究科	15	30	9	20	-	29	3	9	3	4	4	-	11
医学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6
工学研究科	200	200	213	-	-	213	15	15	14	-	-	-	14
水産・環境科学総合研究科	60	60	57	-	-	57	17	17	15	-	-	-	15
生産科学研究科	-	218	1	267	-	268	-	96	8	25	68	-	101
医歯薬学総合研究科	60	108	64	58	-	122	108	436	104	105	103	203	515
国際健康開発研究科	10	20	10	15	-	25	-	-	-	-	-	-	-
計	363	672	366	376	1	743	143	573	144	134	175	209	662

研究科	専門職学位課程					
	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
教育学研究科	20	40	21	14	2	37
計	20	40	21	14	2	37

2011.5.1
(人)

研究生・科目等履修生等

学部等	区分	研 究 生	科目等履修生	特別聴講学生	特別研究学生
教育学部・教育学研究科		4	18	18	0
経済学部・経済学研究科		14	1	8	0
医学部・医学研究科		0	0	0	0
歯 学 部		0	0	0	0
薬 学 部		1	0	5	0
工 学 部		2	4	9	0
環 境 科 学 部		8	0	8	0
水 産 学 部		3	1	4	0
熱帯医学研究所		0	0	0	0
工学研究科		0	0	0	0
水産・環境科学総合研究科		0	0	0	7
生産科学研究科		0	0	0	0
医歯薬学総合研究科		7	0	0	8
留学生センター		0	0	19	0
計		39	24	71	15

上記以外に長崎県における大学間の単位互換履修生（特別聴講）が34人

平成23年度入学者状況

学 部 2011.5.1(人)

学 部		区 分	入 学 定 員	入 学 志 願 者		入 学 者	
教 育 学 部			240	852		251	
経 済 学 部	昼 間 コ ー ス		355	831	36	356	11
	夜 間 主 コ ー ス		60	98		59	
医 学 部			222	706		223	
歯 学 部			50	300	8	50	
薬 学 部			80	457		91	
工 学 部			380	1,129	51	396	
環 境 科 学 部			132	8	537	34	135
水 産 学 部			110	580		116	
計			1,629	8	5,490	134	1,677

は外国人留学生で外数

出身高校による入学者(外国人留学生を除く)の地域別区分

2011.5.1(人)

学 部	区 分	長 崎 県	九 州 地 区 (長崎県を除く)	中 国 地 区 四 国	近 畿 地 区	中 部 地 区	関 東 地 区	東 北 地 区 北 海 道	外 国 ・ 大 検 等	計
教 育 学 部		127	106	15	2	1	0	0	0	251
経 済 学 部		157	234	11	6	2	2	3	0	415
医 学 部		106	88	12	6	1	7	1	2	223
歯 学 部		10	14	6	3	5	8	3	1	50
薬 学 部		24	47	10	3	4	2	0	1	91
工 学 部		171	202	8	5	2	3	3	2	396
環 境 科 学 部		53	70	6	2	1	2	0	1	135
水 産 学 部		36	28	12	20	5	9	5	1	116
計		684	789	80	47	21	33	15	8	1,677

大 学 院

2011.5.1(人)

研究科	区 分	入 学 定 員	入 学 志 願 者		入 学 者	
教 育 学 研 究 科	修 士	18	19	2	10	2
	専 門 職 学 位	20	28		21	
経 済 学 研 究 科	博 士 前 期	15	10	18	6	3
	博 士 後 期	3	1	2	1	2
工 学 研 究 科	博 士 前 期	200	233	19	197	16
	博 士 後 期	10	8	1	8	1
	博 士(5年一貫制)	5	5	3	2	3
水産・環境科学総合研究科	博 士 前 期	60	70	20	46	11
	博 士 後 期	12	6	6	6	6
医歯薬学総合研究科	博 士(5年一貫制)	5	1	2	1	2
	修 士	60	59	5	53	1
医歯薬学総合研究科	博 士	90	83	3	77	3
	博 士 後 期	18	6		6	
国際健康開発研究科	修 士	10	13		9	
計		526	594	76	443	50

は外国人留学生で外数

平成22年度卒業(修了)者及び進路状況

2011.3.31

学部卒業者 (人)

学 部	平成22年度	累 計
教 育 学 部	232	16,412
経済学部	昼間コース	354
	夜間主コース	56
医 学 部	210	6,427
歯 学 部	52	1,623
薬 学 部	35	4,047
工 学 部	422	13,200
環 境 科 学 部	146	1,438
水 産 学 部	109	5,346
合 計	1,616	63,482

大学院修了者 (人)

大 学 院	平成22年度	累 計
教 育 学 研 究 科	38	567
経 済 学 研 究 科	16	196
医 学 研 究 科	2	1,288
歯 学 研 究 科	0	149
薬 学 研 究 科	0	924
工 学 研 究 科	0	1,758
環 境 科 学 研 究 科	0	46
水 産 学 研 究 科	0	616
海 洋 生 産 科 学 研 究 科	0	245
生 産 科 学 研 究 科	248	2,555
医 歯 薬 学 総 合 研 究 科	159	1,001
国 際 健 康 開 発 研 究 科	6	17
合 計	469	9,362

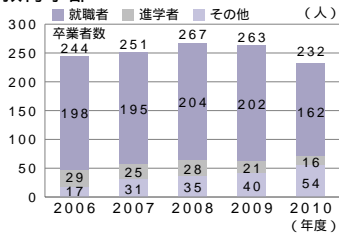
進路状況

(人)

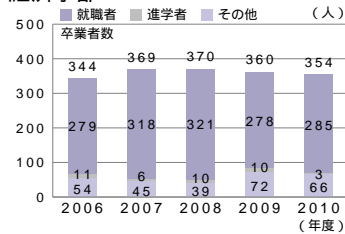
進路	学部	教育学部	経済学部	医学部保健学科	薬学部	工学部	環境科学部	水産学部	合 計
卒 業 者 数		232	354	119	35	422	146	109	1,417
就 職	就 職 希 望 者	202	315	109	2	194	97	57	976
	就 職 者 数	162	285	108	2	176	88	45	866
	就 職 率	80.2	90.5	99.1	100	90.7	90.7	78.9	88.7
	農 林 漁 業		1				1	5	7
	鉱業・砕石業・砂利採取業							1	1
	建 設 業		8				30	4	42
	製 造 業	7	46			1	72	8	12
	電気・ガス・熱供給・水道業		3				1		4
	情報通信・運輸業・郵便業	15	22				26	16	6
	卸売業・小売業	4	30				1	13	7
	金融業・保険業	11	82				4	6	103
	不動産業・物品賃貸業		5					2	7
	学術研究・専門・技術サービス	1	5				2	3	1
	宿泊業・飲食サービス業	1	2						2
	生活関連サービス業・娯楽業	3	9					1	1
	教育・学習支援業	96	6					3	2
	医療・福祉	7	7	99				2	
複合サービス事業	4	10					3		
サービス(他に分類されない)		1				22	6	2	
公 務	13	48	9		1	18	20	6	
分 類 不 能									0
進 学 者 数		16	3	9	32	218	26	44	348
そ の 他		54	66	2	1	28	32	20	203

過去5年間の進路状況の推移

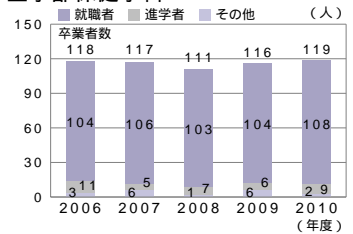
教育学部



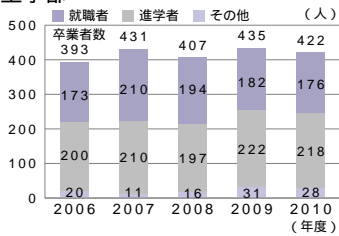
経済学部



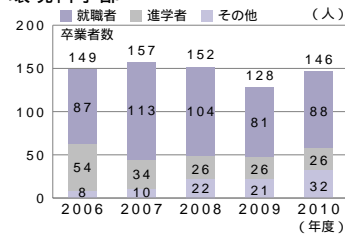
医学部保健学科



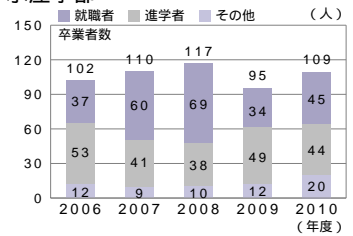
工学部



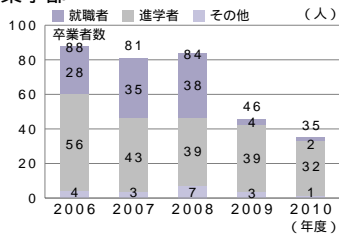
環境科学部



水産学部



薬学部



学位授与数

2011 .3 .31

(人)

博士の種類	課程修了		論文		旧制授与数
	平成22年度	累計	平成22年度	累計	
学術	6	168	1	21	
経営学	1	9	0	0	
医学	59	1,582	7	1,810	1,347
歯学	11	206	0	95	
薬学	21	129	1	37	
臨床薬学	1	13	0	0	
工学	10	273	1	46	
水産学	6	53	2	14	
環境科学	2	11	0	2	
合計	117	2,444	12	2,025	1,347

(人)

修士の種類	平成22年度	累計
学術	6	36
教育学	16	522
経済学	5	116
経営学	10	71
熱帯医学	8	55
看護学	4	23
理学療法	4	35
作業療法	4	16
薬学	34	1,093
臨床薬学	15	205
工学	167	3,557
水産学	30	922
環境科学	21	205
公衆衛生学	6	17
合計	330	6,873

修士の種類	平成22年度	累計
教職修士 (専門職)	22	45



平成23年度外国人留学生

部局別内訳

2011 .5 .1 (人)

区分 学部等	学部学生	大学院生	研究生等	計	区分 学部等	学部学生	大学院生	研究生等	計
経済学部	30		22 (1)	52 (1)	経済学研究科		17		17
医学部				0	工学研究科		20 (1)		20 (1)
歯学部				0	水産・環境科学総合研究科		19 (1)	7	26 (1)
薬学部			5	5	生産科学研究科		42 (2)	0	42 (2)
工学部	24		11	35	医歯薬学総合研究科		77 (48)	2	79 (48)
環境科学部	34		15	49	留学生センター			23 (4)	23 (4)
水産学部	2		7	9	計	90 (0)	181 (52)	114 (7)	385 (59)

() は国費留学生を内数で示す。

国別内訳

(人)

区分 国名	学部学生	大学院生	研究生等	計	区分 国名	学部学生	大学院生	研究生等	計
バングラデシュ		9 (5)		9 (5)	モーリタニア			1 (1)	1 (1)
ベルギー			2 (1)	2 (1)	モンゴル		1 (1)		1 (1)
ブルキナファソ		1		1	ミャンマー		1	1	2
中国	77	100 (7)	55	232 (7)	ネパール		2 (1)		2 (1)
コンゴ		1 (1)		1 (1)	オランダ			10	10
エジプト		4 (3)		4 (3)	ナイジェリア		4 (3)	1 (1)	5 (4)
エルサルバドル			1 (1)	1 (1)	パラグアイ		2 (2)		2 (2)
ドイツ			1	1	ペルー		1 (1)		1 (1)
ガーナ		1		1	フィリピン		1 (1)	1	2 (1)
ギニア		1		1	ロシア		1 (1)		1 (1)
ハイチ		1 (1)		1 (1)	シンガポール		1 (1)		1 (1)
インドネシア		4 (2)	1	5 (2)	スーダン		2 (1)		2 (1)
イタリア			1 (1)	1 (1)	台湾		4	6	10
ヨルダン		1 (1)		1 (1)	タイ	1	2	2	5
カザフスタン		2 (1)		2 (1)	トルコ		1 (1)		1 (1)
ケニア		8 (8)	2	10 (8)	ウガンダ		2 (1)	1 (1)	3 (2)
韓国	9	7	25	41	アメリカ			1	1
コソボ			1 (1)	1 (1)	ベトナム	2	9 (7)	1	12 (7)
ラオス		2		2	計	90 (0)	181 (52)	114 (7)	385 (59)
リビア		1 (1)		1 (1)					

() は国費留学生を内数で示す。国名はアルファベット順。

海外の大学等との学術交流協定締結状況

2011.5.1

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管(締結)部局	締結年月日	更新年月日
1	中国	福建省疾病预防控制中心	医歯薬学総合研究科	平成元年 8月23日	平成20年 10月1日
2		復旦大学	医歯薬学総合研究科	平成元年 10月4日	平成21年 11月30日
3		福州大学	工学研究科	平成4年 3月4日	平成21年 9月21日
4		中国海洋大学	水産学部	平成9年 1月20日	平成21年 3月9日
5		中国薬科大学	医歯薬学総合研究科	平成10年 10月30日	平成20年 10月29日
6		福建医科大学	医歯薬学総合研究科	平成13年 8月6日	平成19年 7月23日
7		同濟大学	工学研究科	平成13年 11月12日	平成21年 9月28日
8		大連海洋大学	水産学部	平成15年 1月17日	平成20年 1月17日
9		上海交通大学	医歯薬学総合研究科	平成15年 3月10日	平成20年 3月10日
10		第四軍医大学	医歯薬学総合研究科	平成15年 3月26日	平成20年 3月26日
11		香港浸會大学中医薬学院	(薬学部)	平成16年 7月9日	平成21年 7月9日
12		北京師範大学	教育学部	平成16年 12月27日	平成21年 12月27日
13		北京教育学院	教育学部	平成16年 12月28日	平成21年 5月15日
14		新疆医科大学	医歯薬学総合研究科	平成17年 9月26日	平成22年 9月26日
15		上海財経大学国際工商管理大学院	(経済学部)	平成17年 11月21日	平成22年 11月18日
16		中南大学	医歯薬学総合研究科	平成18年 4月18日	平成23年 4月18日
17		東北師範大学	教育学部	平成19年 3月22日	
18		上海海洋大学	水産・環境科学総合研究科	平成19年 5月18日	
19		上海師範大学	教育学部	平成19年 6月27日	
20		華東師範大学	教育学部	平成19年 7月2日	
21		集美大学	水産学部	平成19年 8月9日	
22		天津科技大学	工学研究科	平成19年 12月10日	
23		吉林大学	環境科学部	平成20年 1月8日	
24		中国医科大学	熱帯医学研究所	平成22年 9月21日	
25		北京協和医科大学	熱帯医学研究所	平成22年 9月20日	

()は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管(締結)部局	締結年月日	更新年月日
26	中国	江蘇省血吸虫病防治研究所	熱帯医学研究所	平成22年 9月20日	
27		山東大学	工学研究科	平成22年 11月1日	
28		山東科技大学	工学研究科	平成22年 11月1日	
29	台湾	国立陽明大学	医歯薬学総合研究科	平成14年 6月21日	平成19年 9月29日
30		淡江大学	環境科学部	平成16年 11月8日	平成21年 11月8日
31		国立高雄海洋科技大学	水産学部	平成17年 4月19日	平成22年 4月19日
32		国立台湾海洋大学	水産学部	平成17年 8月9日	平成22年 8月9日
33		高雄医学大学	医歯薬学総合研究科	平成18年 8月1日	
34		国立政治大学	環境科学部	平成21年 8月4日	
35		国立台湾大学	環境科学部	平成22年 11月5日	
36	韓国	済州大学校	工学研究科	平成3年 2月5日	平成21年 6月3日
37		釜慶大学校	水産学部	平成9年 1月29日	平成21年 9月30日
38		江原大学校	工学研究科	平成14年 4月4日	平成19年 4月2日
39		晋州保健大学	医歯薬学総合研究科	平成14年 9月11日	平成19年 12月28日
40		昌原大学校	教育学部	平成14年 10月24日	平成19年 9月25日
41		全南大学校	水産学部	平成14年 12月20日	平成18年 8月17日
42		仁荷大学校	水産学部	平成15年 7月4日	平成20年 9月16日
43		漢陽大学校	教育学部	平成15年 10月10日	平成18年 10月10日
44		延世大学校	教育学部	平成15年 11月18日	平成18年 11月18日
45		韓国海洋研究院	水産学部	平成16年 2月11日	平成21年 2月11日
46		慶北大学校	教育学部	平成16年 9月30日	平成21年 9月30日
47		韓国国立水産科学院	水産学部	平成17年 3月7日	平成22年 3月7日
48		梨花女子大学校	留学生センター	平成18年 2月22日	平成23年 2月22日
49		成均館大学校	留学生センター	平成18年 3月28日	平成23年 3月28日
50		慶熙大学校	留学生センター	平成18年 8月21日	
51	ハーリム大学校	医歯薬学総合研究科	平成19年 5月23日		

()は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管(締結)部局	締結年月日	更新年月日
52	韓 国	ソウル大学校	医歯薬学総合研究科	平成19年 7月16日	
53		プサン大学校	医歯薬学総合研究科	平成19年 9月13日	
54		嶺南大学校	工学研究科	平成20年 2月28日	
55		新羅大学校	教育学部	平成20年 6月17日	
56		韓国教員大学校	教育学部	平成22年 10月25日	
57		全北大学校	工学研究科	平成22年 11月1日	
58	モンゴル	モンゴル国立健康科学大学	医歯薬学総合研究科	平成20年 6月25日	
59	タ イ	チェンマイ大学	経済学部・熱帯医学研究所	平成2年 9月5日	平成23年 4月1日
60		チュラロンコン大学	医歯薬学総合研究科	平成11年 3月26日	平成21年 4月5日
61		マヒドン大学	熱帯医学研究所	平成11年 11月1日	平成22年 6月14日
62		タマサート大学	熱帯医学研究所	平成18年 3月13日	平成23年 3月13日
63		タイ王国保健省医科学局	医歯薬学総合研究科	平成18年 3月25日	平成23年 3月25日
64		サムラトランギ大学	水産学部	平成5年 4月19日	平成22年 6月29日
65	インドネシア	トリサクティ大学	医歯薬学総合研究科	平成15年 10月11日	平成20年 10月11日
66		アイルランガ大学	熱帯医学研究所	平成16年 1月20日	平成21年 1月20日
67		ブラウィジャヤ大学	水産学部	平成20年 9月9日	
68		ボルネオ大学	水産学部	平成22年 7月8日	
69	シンガポール	シンガポール国立大学	医歯薬学総合研究科	昭和62年 6月15日	平成22年 4月16日
70	マレーシア	マレーシア科学大学	水産学部	平成7年 5月15日	平成21年 9月30日
71	フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	熱帯医学研究所	平成13年 4月10日	平成22年 4月10日
72		セントルークス医療センター	熱帯医学研究所	平成16年 2月17日	平成21年 2月17日
73		サンラザロ病院医療センター	熱帯医学研究所	平成16年 8月20日	平成21年 8月20日
74		イースト大学	医歯薬学総合研究科	平成17年 1月26日	平成22年 1月26日
75		フィリピン大学ピサヤ校	医歯薬学総合研究科	平成22年 3月17日	
76	ベトナム	国立衛生疫学研究所	熱帯医学研究所	平成13年 6月25日	平成18年 10月12日
77	ミャンマー	ミャンマー国保健省医科学局及び医学研究局	医歯薬学総合研究科	平成19年 2月20日	

()は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管(締結)部局	締結年月日	更新年月日
78	バングラデシュ	BRAC 大学	国際健康開発研究科	平成20年 5月30日	
79	インド	スリー・チトラ・トゥリニユアル医療科学技術研究所	国際健康開発研究科	平成20年 7月17日	
80		インド国防省附属防衛科学技術研究所	熱帯医学研究所	平成22年 1月28日	
81	アメリカ	サウス・カロライナ大学	水産学部	平成4年 1月21日	平成19年 5月28日
82		ミシガン州立大学	医歯薬学総合研究科	平成14年 3月6日	平成19年 12月3日
83		アリゾナ大学	環境科学部	平成14年 8月27日	平成20年 5月12日
84		ハワイ大学マノア校	水産学部	平成19年 6月14日	
85	ブラジル	南リオ・グランデカトリック大学	医歯薬学総合研究科	平成18年 3月10日	
86		フィゲイラ教授記念母子保健研究所	医歯薬学総合研究科	平成19年 7月20日	
87	イタリア	トリノ工科大学	工学研究科	平成9年 8月1日	平成19年 5月30日
88		ナポリ大学フェデリコⅡ	工学研究科	平成10年 5月4日	平成20年 5月4日
89		バーリ大学	工学研究科	平成20年 7月10日	
90	イギリス	オックスフォード大学グレイ研究所(放射線腫瘍学・生物学研究科)	(医歯薬学総合研究科)	平成15年 2月26日	平成21年 1月9日
91		リバプール大学	医歯薬学総合研究科	平成18年 3月6日	平成23年 3月6日
92	ドイツ	ビュルツブルク大学	医歯薬学総合研究科	平成8年 9月26日	平成18年 9月27日
93		ヨハネス・ゲーテンベルク・マインツ大学	医歯薬学総合研究科	平成22年 6月21日	
94	ポルトガル	ポルト大学	医歯薬学総合研究科	平成22年 11月23日	
95	オランダ	ライデン大学	医歯薬学総合研究科	平成10年 9月2日	平成20年 10月1日
96	フランス	オート・アルガス大学ミュールーズ国立高等化学院	医歯薬学総合研究科	平成17年 9月9日	平成22年 9月9日
97	ノルウェー	ノルウェー科学技術大学	水産学部	平成18年 1月18日	平成23年 1月18日
98	ベラルーシ	ベラルーシ医科大学	医歯薬学総合研究科	平成8年 5月29日	平成18年 7月25日
99		ゴメリ医科大学	医歯薬学総合研究科	平成14年 1月31日	平成19年 1月31日
100		ベラルーシ卒業後教育医学アカデミー	医歯薬学総合研究科	平成20年 7月11日	
101	カザフスタン	セミパラチンスク医科大学	医歯薬学総合研究科	平成10年 3月4日	平成20年 2月1日
102		カザフスタン放射線医学環境研究所	医歯薬学総合研究科	平成14年 12月18日	平成20年 2月1日
103		カザフ国立医科大学	医歯薬学総合研究科	平成21年 8月26日	

()は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管(締結)部局	締結年月日	更新年月日
104	ウクライナ	ウクライナ医学アカデミー-内分泌代謝研究所	医歯薬学総合研究科	平成15年 2月21日	平成20年 2月1日
105		ウクライナ医学アカデミー-放射線医学研究所	医歯薬学総合研究科	平成15年 2月21日	平成20年 2月1日
106	ロシア	オブニンスク医学放射線研究所	医歯薬学総合研究科	平成14年 7月5日	平成19年 11月1日
107		サンクトペテルブルグ卒業後教育医学アカデミー	医歯薬学総合研究科	平成20年 6月30日	
108	ケニア	ケニヤッタ大学	医歯薬学総合研究科	平成16年 3月29日	平成21年 3月29日
109		ケニア中央医学研究所	熱帯医学研究所	平成16年 11月12日	平成21年 10月20日
110		ナイロビ大学	医歯薬学総合研究科	平成22年 4月27日	
111	南アフリカ	南アフリカ国立感染症研究所	熱帯医学研究所	平成22年 7月8日	
112	ヨルダン	ヨルダン大学	医歯薬学総合研究科	平成15年 3月12日	平成20年 3月12日
113	トルコ	黒海工科大学	水産学部	平成16年 5月20日	平成21年 5月20日

()は部局間協定

教員の海外渡航及び外国人研究者受入数(平成22年度)

区分		渡航者数	受入者数	区分		渡航者数	受入者数		
アジア	中国	152	42	ヨーロッパ	イギリス	41	2		
	台湾	45	36		EU諸国	フランス	48	1	
	韓国	205	48			ドイツ	41	2	
	ASEAN諸国	フィリピン	18			5	オランダ	15	1
		マレーシア	12			1	その他	132	12
		タイ	35			13	ノルウェー	2	0
		インドネシア	10		2	スイス	12	0	
	ベトナム	87	7		その他	8	1		
	その他	37	2		ロシア・NIS諸国	ロシア	8	0	
	その他	78	12			ベラルーシ	6	0	
南北中央アメリカ	米国	196	13	カザフスタン		13	0		
	カナダ	18	2	その他	5	0			
	ブラジル	ブラジル	3	0	アフリカ	ケニア	62	3	
		その他	6	1		その他	30	2	
	大洋州	オーストラリア				オーストラリア	33	0	
フィジー				フィジー		2	0		
その他				その他	7	2			
合計				合計		1,367	210		



社会貢献

産学官連携戦略本部

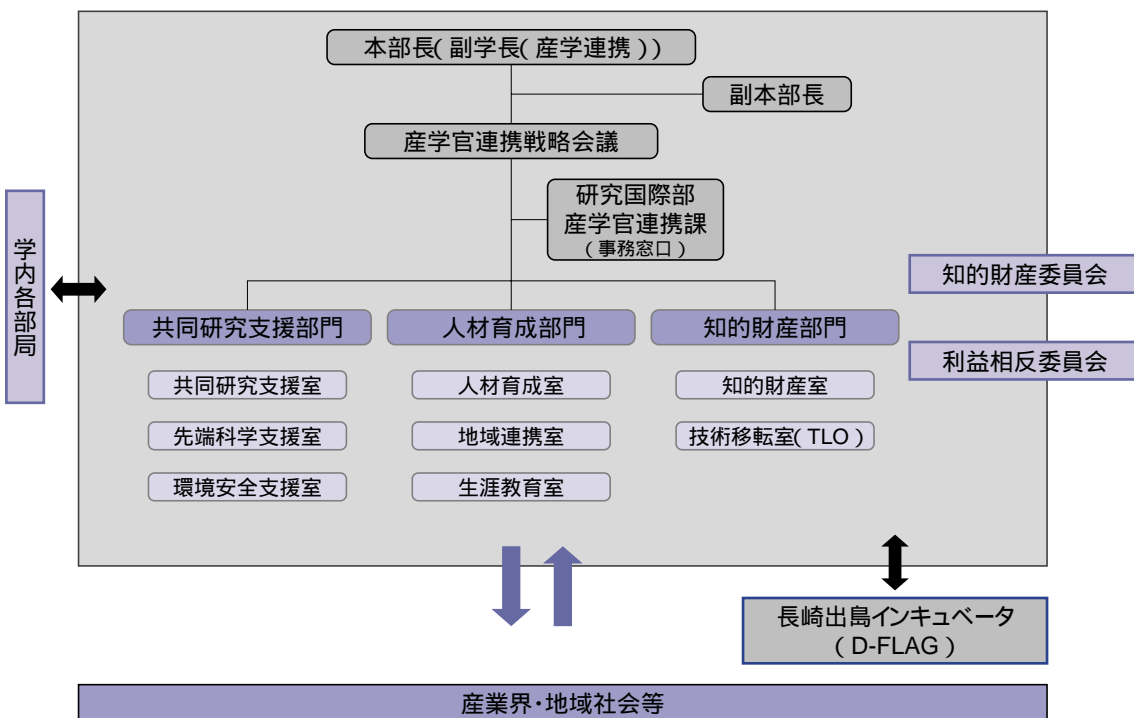
産学官連携戦略本部は、産学官連携，研究成果の評価・管理・活用，生涯学習に係わる大学全体の活動を，戦略的な推進体制の下，総合的かつ機能的に実施することを目的として，共同研究支援部門，人材育成部門，知的財産部門の3部門から構成される組織として2011年6月1日に設置されました。

共同研究支援部門は，大学と地域社会の接点を担い，研究シーズや情報の発信，技術相談への対応，先端分析機器の保守・管理や依頼分析の実施，機器分析の技術指導，環境安全マネジメント全般の実践を行っています。

人材育成部門は，人材資源を活用して社会に貢献する部門として，起業支援や地域自治体への協力・支援，地域における知識基盤社会の実現に向けた生涯学習の推進を行っています。

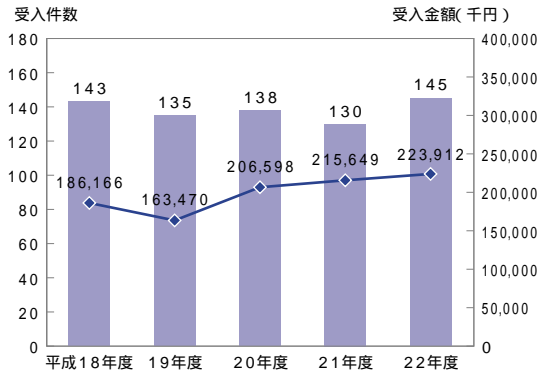
知的財産部門は，研究成果を知的財産として組織的に保護育成し，地場企業から国内外の企業まで幅広く公開することで新製品・新産業創出へとつなぎ，その結果として地域・国際社会へ貢献できるように積極的な活動を行っています。

長崎大学産学官連携戦略本部

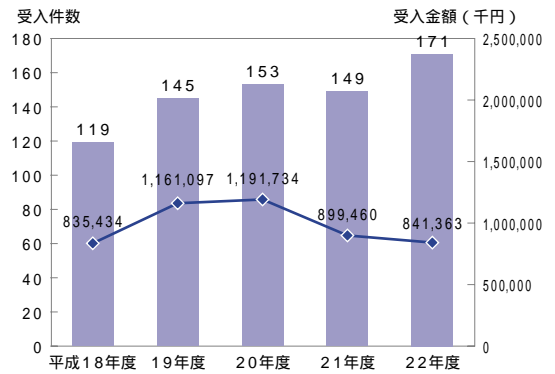


産学連携

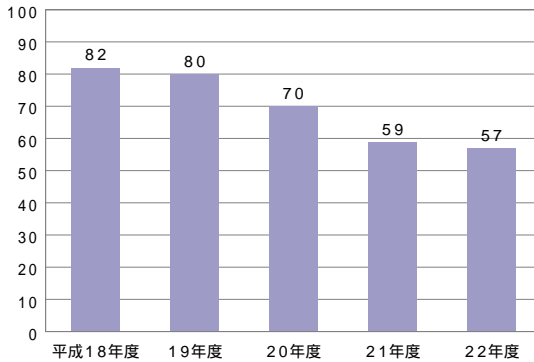
共同研究



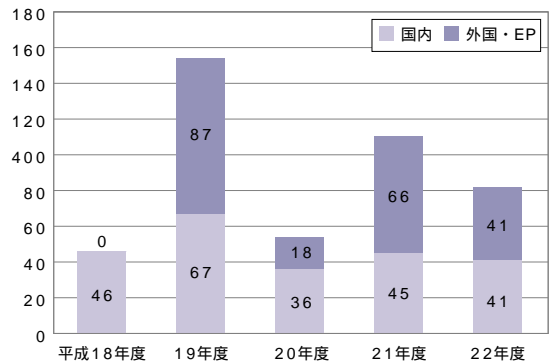
受託研究



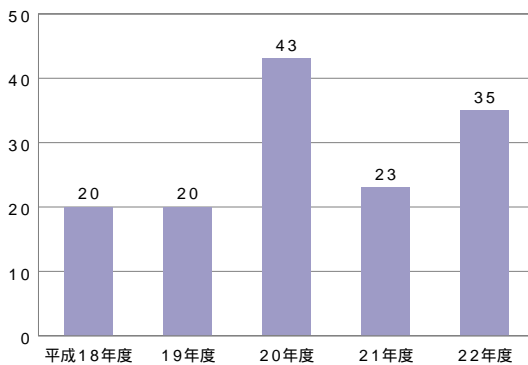
発明届件数



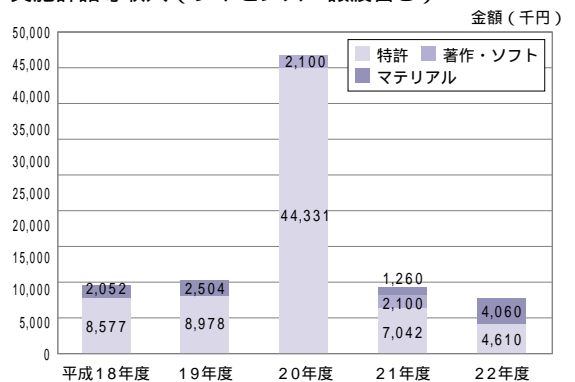
特許出願件数



実施許諾権利数



実施許諾等収入(ライセンス・譲渡含む)

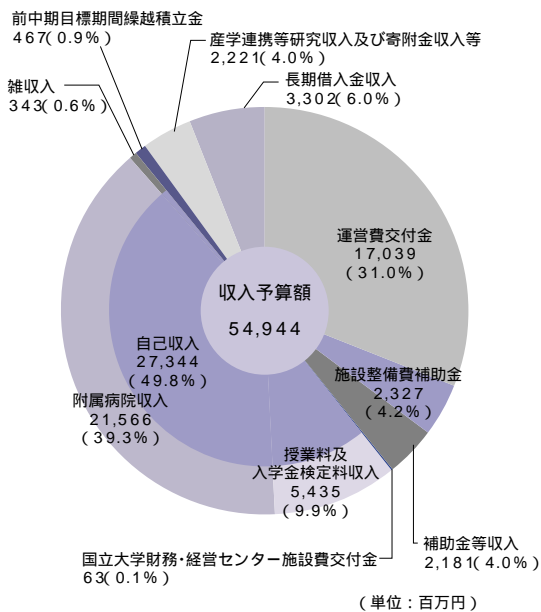




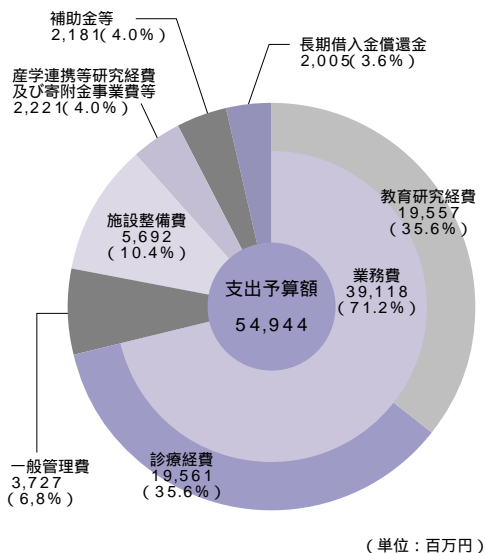
財 政

平成23年度予算額

(収 入)



(支 出)



外部資金等

科学研究費補助金

2011.5.1

研究種目	内定件数	配分予定額 (千円)
新学術領域研究	9	36,200
基盤研究 (A)	6	63,100
基盤研究 (B)	77	280,500
基盤研究 (C)	234	275,200
挑戦的萌芽研究	53	66,900
若手研究 (A)	5	17,300
若手研究 (B)	121	145,300
研究活動スタート支援	8	8,750
奨励研究	6	3,100
特別研究員奨励費	9	7,100
合 計	528	903,450

奨学寄附金

平成22年度

件 数	金 額 (千円)
1,660	1,075,926

受託研究経費

平成22年度

件 数	金 額 (千円)
171	841,363

民間等との共同研究

平成22年度

件 数	金 額 (千円)
145	223,912

配分予定額は直接経費のみを示している。

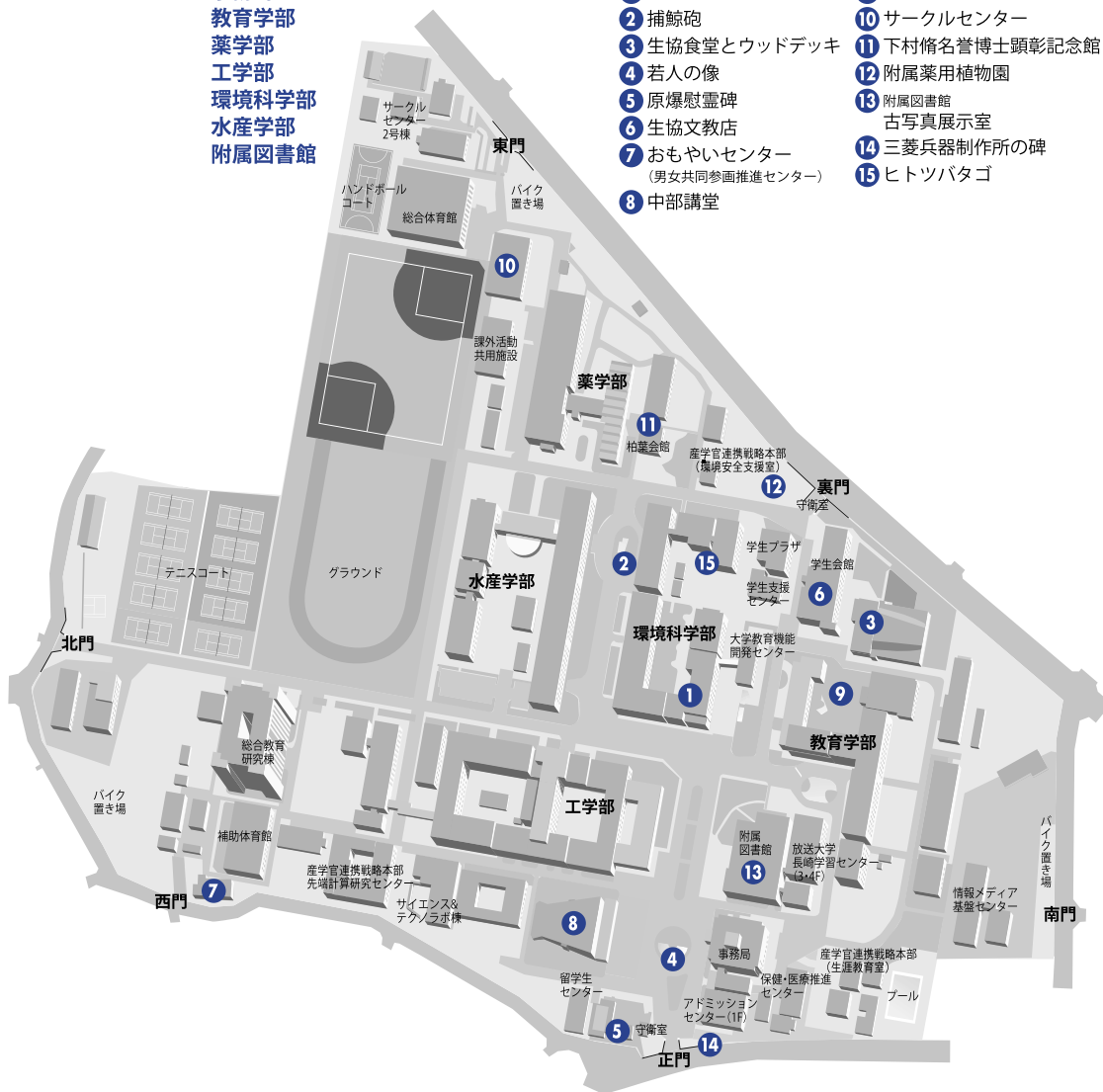


キャンパス

文教キャンパス

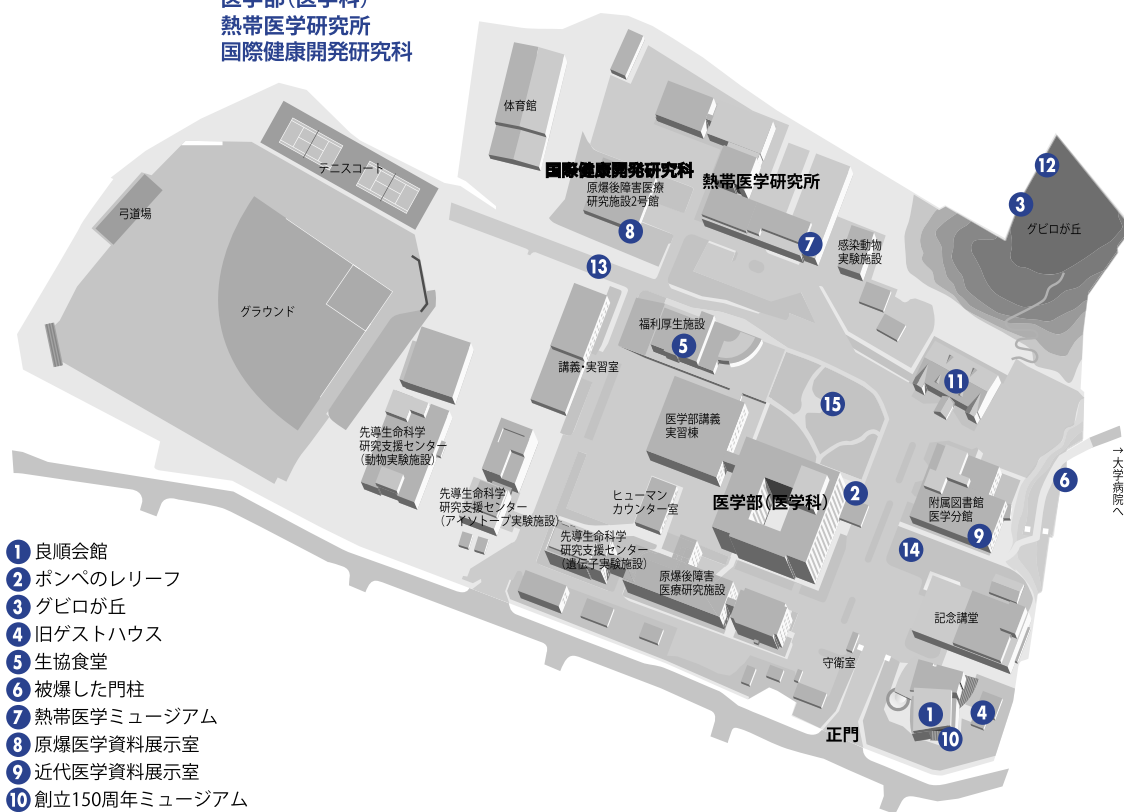
事務局
教育学部
薬学部
工学部
環境科学部
水産学部
附属図書館

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| ① 時計台と大壁画 | ⑨ おもやい広場とピオトープ |
| ② 捕鯨砲 | ⑩ サークルセンター |
| ③ 生協食堂とウッドデッキ | ⑪ 下村脩名誉博士顕彰記念館 |
| ④ 若人の像 | ⑫ 附属薬用植物園 |
| ⑤ 原爆慰霊碑 | ⑬ 附属図書館
古写真展示室 |
| ⑥ 生協文教店 | ⑭ 三菱兵器制作所の碑 |
| ⑦ おもやいセンター
(男女共同参画推進センター) | ⑮ ヒトツバタゴ |
| ⑧ 中部講堂 | |



坂本キャンパス

医学部(医学科)
熱帯医学研究所
国際健康開発研究科



- ① 良順会館
- ② ボンベのレリーフ
- ③ グピロが丘
- ④ 旧ゲストハウス
- ⑤ 生協食堂
- ⑥ 被爆した門柱
- ⑦ 熱帯医学ミュージアム
- ⑧ 原爆医学資料展示室
- ⑨ 近代医学資料展示室
- ⑩ 創立150周年ミュージアム
- ⑪ ボンベ会館
- ⑫ 原爆被災者慰霊碑
- ⑬ けやき通り
- ⑭ シーボルト記念碑
- ⑮ 原爆復興50周年記念碑

坂本キャンパス

医学部(保健学科)
歯学部
大学病院

- ① すかいらうんじ ぼんべ
- ② 水壺を捧げる子供の像
- ③ 被爆したクスノキ
- ④ インナーガーデン
- ⑤ コリドール
- ⑥ 長崎医科大学附属病院碑
- ⑦ ローソン



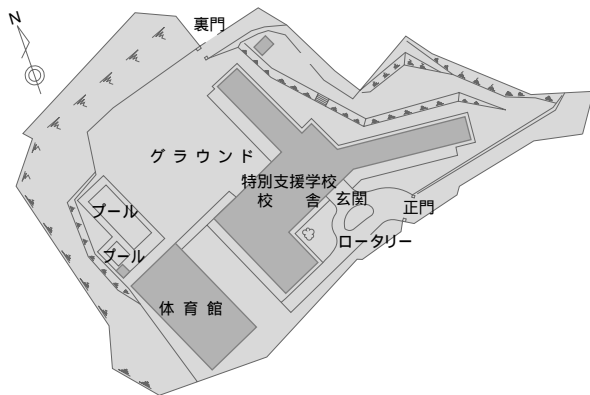
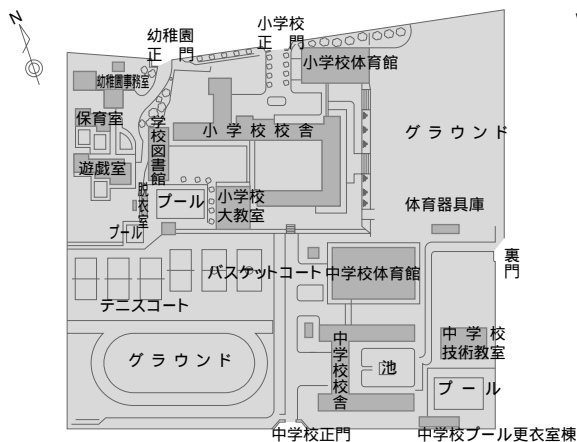
片淵キャンパス



- ① 原爆慰霊塔
- ② 長崎高等商業学校の門柱
- ③ 扶揺会館 (生協食堂)
- ④ 武藤文庫展示室
- ⑤ 瓊林会館
- ⑥ 煉瓦倉庫
- ⑦ 拱橋
- ⑧ 武藤長蔵記念碑

附属学校 (幼稚園・小学校・中学校)

附属特別支援学校



厚生補導施設等

体育施設

施設名 地区名	体 育 館	弓 道 場	柔 道 場	剣 道 場	武 道 場	テ ニ ス コ ー ト	グ ラ ウ ン ド	バ レ ー コ ー ト	プ ー ル	ハ ン ド ボ ー ル コ ー ト	備 考
文 教 地 区	2	1	1	1		8	1	2	1	1	・柔道場，剣道場及び武道場は各地区の体育館内 ・文教地区バレーコート，ハンドボールコートはテニスコートと兼用
片 淵 地 区	1				1	6	1				
坂 本 地 区	2	1			1	2	1				
計	5	2	1	1	2	16	3	2	1	1	

その他主たる施設

名 称	部 局	場 所	主 な 施 設	主 な 事 業	事 業 体
臨海研修所	学生支援部	西彼杵郡時津町子々川郷	宿 泊 施 設 食 堂 ポ ー ト	学生の課外活動 教職員研修会 レクリエーション	長崎大学
九州地区国立大学 島原共同研修センター	"	島原市礪石原町甲1201	宿 泊 施 設 体 育 施 設	研 修 会 レクリエーション	長崎大学
課外活動 共用施設	"	文教町1 - 14 長崎大学文教地区構内	共用室・研修室 ミーティングルーム	学生の課外活動 宿 泊 施 設	長崎大学
学生会館	"	"	就職支援・キャリア情報コーナー 共用談話室・集会室 和室・茶室 多目的室 食堂・喫茶 売 店 理・美容室	就職情報の収集 提供 相談 学生の課外活動 食 品 販 売 食 堂 ・ 喫 茶 書 籍 ・ 日 用 品 販 売 調 髪 ・ 美 容	長崎大学 長崎大学生協同組合 業 者
学生プラザ	"	"	多目的ホール1 多目的ホール2	学生の課外活動	長崎大学
課外活動 共用施設	経済学部	片淵4丁目2 - 1 長崎大学経済学部構内	談話室・共用室 共用会議室 音楽練習室 レコード鑑賞室 制作室・暗室 研 修 室	学生の課外活動 宿 泊 施 設	長崎大学
坂本1団地地区 課外活動共用施設	医学部 医学科	坂本1丁目12 - 4 長崎大学医学部構内	共 用 室 音 楽 練 習 室 室 外 器 具 庫	学生の課外活動	長崎大学

名 称	部 局	場 所	主 な 施 設	主 な 事 業	事 業 体
坂本2団地地区 課外活動共用施設	医 学 部 保健学科	坂本1丁目7-1 長崎大学医学部保健学科内	共用室・談話室 共有会議室 器 具 庫	学生の課外活動	長 崎 大 学
扶 揺 会 館	経済学部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談話室・和室 集会室・食堂 売 店	学生の課外活動 喫 茶 書籍・食堂・日用品販売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
福利厚生施設	医 学 部 医 学 科	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	談 話 室 食 堂 ・ 売 店	食 堂 書籍・食品・日用品販売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
"	歯 学 部	坂本1丁目7-1 長崎大学歯学部構内	談話室・和室 軽 食 室	学生の課外活動 食 堂 書籍・日用品販売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
"	医 学 部 保健学科	坂本1丁目7-1 長崎大学病院構内	食 堂 売 店	食 堂 日 用 品 販 売	長崎大学生協同組合

土地・建物・船舶

土地・建物

施 設 等	所 在 地	土 地 (㎡)		建 物 (㎡)	
		大 学	借 用	大 学	借 用
文 教 キ ャ ン パ ス	長崎市文教町1-14	187,125		40,319 118,173	
職 員 集 会 所	長崎市上西山町11-1, 11-13	903		228 399	
臨 海 研 修 所	西彼杵郡時津町子々川郷	1,451	106	371 616	
教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校	長崎市文教町4-23	51,185		8,258 15,745	
教育学部附属特別支援学校	長崎市柳谷町42-1	12,529		2,169 3,372	
経済学部 附属図書館(経済学部分館)	長崎市片淵4丁目2-1	51,843		6,875 16,434	
坂 本 キ ャ ン パ ス 1	長崎市坂本1丁目12-4	91,231		16,892 50,537	
医 学 部 納 骨 堂	長崎市銭座町4-59		48	13 13	
坂 本 キ ャ ン パ ス 2	長崎市坂本1丁目7-1	86,807		30,449 163,413	
野 母 崎 研 究 施 設	長崎市野母町野母1321	15,899		448 448	
水産・環境科学総合研究科 附属環東シナ海環境資源研究センター	長崎市多以良町1551-7	10,900		1,227 1,739	
職 員 宿 舎		22,753		3,099 13,705	492 1,461

施設等	所在地	土地 (㎡)		建物 (㎡)	
		大学	借用	大学	借用
九州地区国立大学島原共同研修センター	島原市礪石原町甲1201	120,286		1,793 2,329	
国際交流会館	長崎市西町12-1	3,044		635 1,837	499 1,300
職員宿舎		3,008			910 2,414
計		658,964	154	112,776 388,760	1,901 5,175
合計				659,118	

船舶

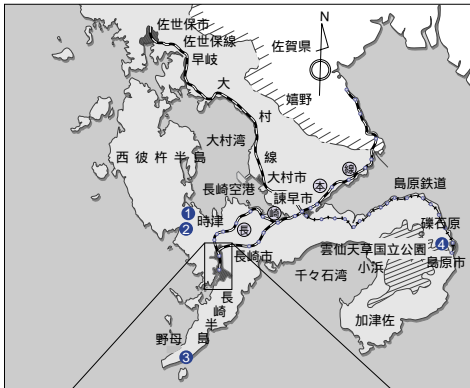
所属	船名	構成	総トン数	馬力	備考
水産学部	鶴洋丸	アルミニウム合金船	155.00	1,428×2	教員, その他の船員15名, 学生収容人員18名
	長崎丸	鋼船	842.00	2,800	教員, その他の船員22名, 学生収容人員40名
学生支援部	琴風	F R P		90	救助艇, 乗船定員10名

部局等所在地一覧

部局の名称	電話番号	所在地
・国際連携研究戦略本部	095 819 7008	〒852 - 8523 長崎市坂本1丁目12 - 4
・産学官連携戦略本部		
共同研究支援部門	095 819 2231	〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14
人材育成部門	095 819 2188(人材育成関係)	〃
	095 819 2234(生涯教育関係)	〃
知的財産部門	095 819 2188	〃
・広報戦略本部	095 819 2018	〃
・監査室	095 819 2182	〃
・学務情報推進室	095 819 2184	〃
・事務局	095 819 2016 (総務企画課)	〃
	095 819 2032 (人事課)	
	095 819 2039 (研究企画課)	
	095 819 2038 (産学官連携課)	
	095 819 2124 (国際交流課)	
	095 819 2065 (財務企画課)	
	095 819 2060 (財務管理課)	
	095 819 2066 (経理調達課)	
	095 819 2072 (教育支援課)	
	095 819 2103 (学生支援課)	
	095 819 2111 (入試課)	
	095 819 2131 (施設企画課)	
	095 819 2137 (施設整備課)	
	095 819 2141 (施設管理課)	
	095 819 2022 (情報企画課)	
	095 819 2193 (学術情報管理課)	
	095 819 2198 (学術情報サービス課)	
・保健・医療推進センター	095 819 2214	〃
・先導生命科学研究支援センター		
アイソトープ実験施設	095 819 7150	〒852 - 8523 長崎市坂本1丁目12 - 4
動物実験施設	095 819 7134	〃
遺伝子実験施設	095 819 7191	〃
・情報メディア基盤センター	095 819 2222	〃
・留学生センター	095 819 2121	〃
・大学教育機能開発センター	095 819 2077	〃
・アドミッションセンター	095 819 2114	〃
・先端計算研究センター	095 819 2705	〒852 - 8521 長崎市文教町1 - 14
・国際交流会館	095 845 0201	〒852 - 8043 長崎市西町12 - 1
・国際交流会館坂本分館	095 819 7519	〒852 - 8102 長崎市坂本1丁目7 - 1
・臨海研修所	095 882 8301	〒851 - 2111 西彼杵郡時津町子々川郷

部 局 の 名 称	電 話 番 号	所 在 地
・教 育 学 部	095 819 2263	〒852 - 8521 長崎市文教町 1 - 14
教育学部 附属 幼稚園	095 819 2288	〒852 - 8131 長崎市文教町 4 - 23
教育学部 附属 小学校	095 819 2272	〃
教育学部 附属 中学校	095 819 2278	〃
教育学部 附属 特別支援学校	095 845 5646	〒852 - 8046 長崎市柳谷町42 - 1
教育学部 附属 教育実践総合センター	095 819 2291	〒852 - 8521 長崎市文教町 1 - 14
・経 済 学 部	095 820 6300	〒850 - 8506 長崎市片淵 4 丁目 2 - 1
・医 学 部		
医 学 科	095 819 7000 (番号案内)	〒852 - 8523 長崎市坂本 1 丁目12 - 4
保 健 学 科	095 819 7900 〃	〒852 - 8520 長崎市坂本 1 丁目 7 - 1
・病 院	095 819 7200 〃	〒852 - 8501 〃
・歯 学 部	095 819 7600 〃	〒852 - 8588 〃
・薬 学 部	095 819 2413	〒852 - 8521 長崎市文教町 1 - 14
・工 学 部	095 819 2489	〃
・環 境 科 学 部	095 819 2713	〃
・水 産 学 部	095 819 2793	〃
水産学部 附属 練習船 鶴洋丸	090 3022 2044	〃
水産学部 附属 練習船 長崎丸	090 3022 2043	〃
・熱 帯 医 学 研 究 所	095 819 7800 (番号案内)	〒852 - 8523 長崎市坂本 1 丁目12 - 4
附属アジア・アフリカ感染症 研 究 施 設	〃	〃
附属熱帯性病原体感染動物実験施設	〃	〃
附属熱帯医学ミュージアム	〃	〃
・附 属 図 書 館 (中央図書館)	095 819 2193	〒852 - 8521 長崎市文教町 1 - 14
附 属 図 書 館 (医学分館)	095 819 7013	〒852 - 8523 長崎市坂本 1 丁目12 - 4
附 属 図 書 館 (経済学部分館)	095 820 6309	〒850 - 8506 長崎市片淵 4 丁目 2 - 1
・工 学 研 究 科	095 819 2489	〒852 - 8521 長崎市文教町 1 - 14
・水産・環境科学総合研究科		
水産科学 領域	095 819 2793	〒852 - 8521 長崎市文教町 1 - 14
環境科学 領域	095 819 2713	〃
附属環東シナ海環境資源研究センター	095 850 7311	〒851 - 2213 長崎市多以良町1551 - 7
・生 産 科 学 研 究 科	095 819 2491	〒852 - 8521 長崎市文教町 1 - 14
・医歯薬学総合研究科 (医学系)	095 819 7000 (番号案内)	〒852 - 8523 長崎市坂本 1 丁目12 - 4
(保健学系)	095 819 7900 〃	〒852 - 8520 長崎市坂本 1 丁目 7 - 1
(歯学系)	095 819 7600 〃	〒852 - 8588 長崎市坂本 1 丁目 7 - 1
(薬学系)	095 819 2413	〒852 - 8521 長崎市文教町 1 - 14
附属原爆後障害医療研究施設	095 819 7000 (番号案内)	〒852 - 8523 長崎市坂本 1 丁目12 - 4
附 属 薬 用 植 物 園	095 819 2413	〒852 - 8521 長崎市文教町 1 - 14
・国 際 健 康 開 発 研 究 科	095 819 7008	〒852 - 8523 長崎市坂本 1 丁目12 - 4
・や っ て み ゃ う で ス ク	095 819 2870	〒852 - 8521 長崎市文教町 1 - 14
・男 女 共 同 参 画 推 進 セ ン タ ー	095 819 2889	〃
・九 州 地 区 国 立 大 学 島 原 共 同 研 修 セ ン タ ー	0957 64 2201	〒855 - 0026 島原市礪石原町甲1201
・東 京 事 務 所	03 6268 9116	〒102 - 0073 東京都千代田区九段北 1 - 9 - 17 寺島文庫ビル 2F

長崎大学位置図



臨海研修所

大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センター

野母崎研究施設

九州地区国立大学島原共同研修センター

教育学部附属幼稚園，附属小学校，附属中学校

教育学部附属特別支援学校

産学官連携戦略本部，広報戦略本部，監査室，学務情報推進室，事務局，教育学部，附属教育実践総合センター，薬学部，工学部，環境科学部，水産学部，附属図書館，工学研究科，水産・環境科学総合研究科，医歯薬学総合研究科（薬学系），附属薬用植物園，保健・医療推進センター，情報メディア基盤センター，留学生センター，大学教育機能開発センター，アドミッションセンター，先端計算研究センター，やってみゅーでスク，男女共同参画推進センター

国際交流会館

国際連携研究戦略本部，医学部（医学科），熱帯医学研究所，医歯薬学総合研究科（医学系），国際健康開発研究科，附属原爆後障害医療研究施設，先端生命科学支援センター，附属図書館（医学分館）

病院，歯学部，医歯薬学総合研究科（保健学系・歯学系），医学部（保健学科）

経済学部，附属図書館（経済学部分館）

長崎大学ロゴマーク

正式ロゴマーク



従来、長崎大学で使用されていたシンボルマーク（帆船マーク）は、昭和24年に大学構成員の連帯意識を高め、総合大学として発展するための心のよりどころとして、鎖国時代の文化の門戸であった長崎に因むオランダ船の触先に NU（Nagasaki University）の頭文字を付け、右肩に「大學」の字を配したマークが制定されました。

国立大学法人化を機に従来のシンボルマークを精緻化し、新たに正式ロゴマークとして平成17年4月1日に制定したものです。

略式ロゴマーク



正式ロゴマークとは別に広く使用するものとして新たに略式ロゴマークを平成17年4月1日に制定しました。

中央にある“黄色系の図形”は「学生・教職員」を、右にある“緑色系の図形”は自然環境の豊かな「地域・日本国土」を、そして左にある“青色系の図形”は「地域・日本国土」を取り巻く「広大な海とその先にある国際社会」を表します。

これらの図形の“重なり”はそれぞれの分野での「調和と貢献」を、また“黄色系の円”は「創造」を表しています。

全体を見ると「学生・教職員」と「地域・日本国土」とにより形作られる“人”と「国際社会」とにより形作られた“人”とはさらに合わさって、「長崎大学」を表す“N”を構成しています。

2011年度 国立大学法人

長崎大学概要



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

【編集発行】長崎大学広報戦略本部

〒852 8521 長崎市文教町 1 14 TEL 095 819 2018

URL <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>